

Argus オプションガイド Microsoft365 連携

【Ver 5.0.0】



Argus サポートデスク

株式会社レッティ

もくじ

1 はじめに	3
1-1 語句の表現について	3
2 機能の概要	4
3 設定の流れ	5
3-1 管理者による設定	5
3-2 各ユーザ側で必要な設定	6
4 Microsoft 画面側の設定	7
4-1 アプリの登録	7
4-1-1 設定手順	7
4-2 クライアントシークレットの登録	9
4-2-1 クライアントシークレットの登録手順	9
4-2-2 クライアントシークレットの更新手順	12
4-3 管理者の承諾を与える	14
4-4 Microsoft Azure に関するご参考 URL	18
5 Salesforce 画面側の設定	19
5-1 認証プロバイダの設定	19
5-1-1 設定手順	19
5-2 リモートサイトの設定	23
5-2-1 設定手順	23
6 Argus 管理者メニューの設定（Microsoft365 メール連携）	25
6-1 機能設定	26
6-2 CSV 出力	27
6-3 アカунツの設定	28
6-3-1 CSV ファイルの加工手順	28
6-3-2 ファイルの一括保存	31
6-3-3 取り込み状況の確認	33
6-4 認証の取り消し	34
7 Argus 管理者メニューの設定（トップページ）	36
7-1 ポートレット表示件数の設定	37
7-1-1 ポートレット表示件数の設定手順	37
7-2 ポートレットの配置設定	39
7-2-1 ポートレットの配置設定手順	39
8 Argus ユーザメニューの設定（トップページ）	42
8-1 ポートレット表示件数の設定	43

8-1-1 ポートレットの表示件数の設定手順.....	43
8-2 ポートレットの配置設定	45
8-2-1 ポートレットの配置設定手順.....	45
9 Microsoft365 アカウントを認証	47
9-1 コールバック URL を登録	47
9-1-1 設定手順	47
9-2 テナント別の認証設定	50
9-2-1 アプリを登録したテナントから利用する場合（A）	50
9-2-2 アプリを登録したテナントとは別のテナントから利用する場合（B）	54
10 本資料に関するお問合せ先.....	59
11 履歴.....	60

1 はじめに

本資料では、Argus と Microsoft アカウントを連携してご利用頂く際に必要な設定をご案内致します。

1 - 1 語句の表現について

本資料では、語句を以下のように表現します。

表現	意味	例
	選択箇所	画面内で選択箇所を表現します。
	入力箇所	画面内で入力箇所を表現します。
>	操作の順番	設定 > 管理 > ユーザの管理 > ユーザ
《 》	オブジェクトの名前	《取引先》、《Argus3 申請情報》
「 」	項目の名前	「項目名」、「日時」、「上司」
『 』	設定／入力値	『√あり』、『√なし』
[]	ボタン、リンクの名前	[保存]、[次へ]、[新規登録]

2 機能の概要

この機能は、お客様がご利用されている Salesforce および Argus と、Microsoft365 アカウントを連携できるように設定することで、Argus トップページの 新着情報ポートレット に Microsoft アカウントで受信した新着メールを確認することが出来ます。

■ 設定後の Argus トップページ

Microsoft365 メールポートレット 拡大イメージ

3 設定の流れ

3-1 管理者による設定

Argus の運用を開始頂く際に管理者の方に実施して頂く設定の流れは以下の通りです。

※ Microsoft365、Salesforce 共に管理者権限のあるユーザで設定します。

所要時間：約 1 ～ 2 時間

#	アプリケーション	説明	準備して頂く事
1	Microsoft 	Argus から Microsoft365 のデータにアクセスするための情報を登録します。 ➤ アプリの登録 ➤ クライアントシークレットの登録	ご契約されている Microsoft365 のアカウント情報が必要です。
2	Microsoft 	登録した『アプリ』に管理者の承諾を与える設定を行います。 ※ この手順はスキップして頂いても問題ございません。	
3	Salesforce 	Salesforce 設定より以下の情報を設定します。 ➤ 認証プロバイダの設定	#1 で登録された『アプリ』(Microsoft Azure)の登録情報が必要です。
4	Salesforce 	Salesforce 設定より以下の情報を設定します。 ➤ リモートサイトの設定	
5	Argus 	Argus の管理者メニューより以下の情報を設定します。 ➤ Microsoft365 メール連携	Argus (Salesforce) に紐づけをする各ユーザのアカウント情報(メールアドレス)が必要です。 ※ CSV ファイルを作成する際に必要です。
6	Argus 	Argus の管理者メニューより以下の情報を設定します。 ➤ ポートレット表示件数の設定 ➤ ポートレットの配置設定	
7	Microsoft (Argus) 	Argus トップページ > 新着情報ポートレット より以下の情報を設定します。 ➤ コールバック URL ➤ Microsoft 認証	「新着情報」のポートレットが必要です。

3-2 各ユーザ側で必要な設定

管理者による設定が完了した後、各ユーザに実施して頂く設定は以下の通りです。

所要時間：約 10 分

#	アプリケーション	説明	準備して頂く事
1	Argus 	Argus のユーザメニューより以下の情報を設定します。 ➤ ポートレット表示件数の設定 ➤ ポートレットの配置設定	管理者メニューから「ユーザメニューの利用制限」の許可が必要です。
2	Argus 	Argus トップページ > 新着情報ポートレット > Microsoft365 メール から Microsoft アカウントを認証します。	管理者による設定 が全て完了している必要があります。 「新着情報」のポートレットが必要です。

4 Microsoft 画面側の設定

4-1 アプリの登録

Microsoft365 のデータにアクセスするために、Azure アプリ登録ポータルでアプリの登録が必要です。

対象画面	Microsoft Azure アプリ登録画面
------	---

4-1-1 設定手順

対象画面	Microsoft Azure > ホーム > アプリの登録
------	--------------------------------

- 1) Microsoft Azure > ホーム > アプリの登録 を開きます。
- 2) 〔+新規登録〕を押下します。

■ Microsoft Azure > ホーム > アプリの登録 画面



3) 以下の表の項目を設定し、〔登録〕を押下します。

■Microsoft Azure > ホーム > アプリの登録 > アプリケーションの登録 画面

Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ADMINLETTY

ホーム > アプリの登録 >

アプリケーションの登録

×

名前

このアプリケーションのユーザー向け表示名 (後で変更できます)。

Argus Microsoft365連携

サポートされているアカウントの種類

このアプリケーションを使用したりこの API にアクセスしたりできるのはどれですか?

☒ この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント (adminletty のみ - シングル テナント)

☐ 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント)

☐ 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント) と個人の Microsoft アカウント (Skype、Xbox など)

☐ 個人用 Microsoft アカウントのみ

[選択に関する詳細...](#)

リダイレクト URI (省略可能)

ユーザー認証が成功すると、この URI に認証応答を返します。この時点での指定は省略可能で、後ほど変更できますが、ほとんどの認証シナリオで値が必要となります。

Web

例: https://myapp.com/auth

続行すると、Microsoft プラットフォーム ポリシーに同意したことになります

登録

項目	内容	
名前	画面上に表示される任意の名称を入力します。	
	【設定例】 Argus Microsoft365 連携	
サポートされている アカウントの種類	テナントが 1 つの場合	『この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント (株式会社 xxx のみ - シングル テナント)』を選択します。
	テナントが複数の場合	『任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント)』を選択します。
リダイレクト URI	ユーザが認証された際のトークンの送り先を指定します。 ※ リダイレクト URI は後に設定する為、詳細な設定手順は Microsoft365 認証設定 にてご案内します。	

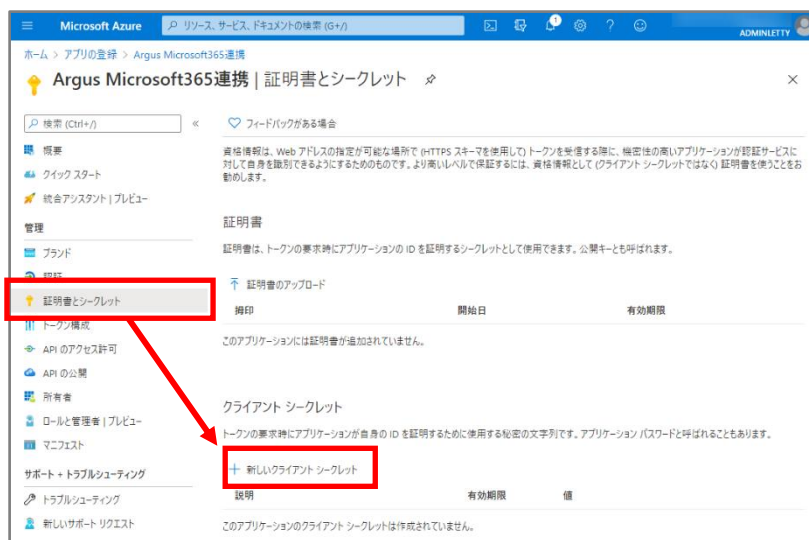
4-2 クライアントシークレットの登録

[アプリの登録](#) で登録したアプリのパスワードとなるクライアントシークレットを登録します。

対象画面 Microsoft Azure > ホーム > アプリの登録 > [アプリの登録](#) で登録したアプリ

4-2-1 クライアントシークレットの登録手順

- 1) アプリ登録完了後に表示される画面左側の〔証明とシークレット〕を押下し、〔+新しいクライアントシークレット〕を押下します。



- 2) 以下の項目を入力し、〔追加〕を押下します。



項目	内容
説明	任意の説明文を入力します。 ※ 後から確認された際に用途がわかるメモを入力してください。 【設定例】 Argus と Microsoft365 を連携するためのパスワード
有効期限	シークレットの有効期限を設定します。 有効期限を経過すると Argus から Microsoft アカウントのメールを確認することが出来なくなりますが、再度設定を行うことで更新が可能です。 ※ セキュリティ対策の為、有効期限は初期値の『1年』を強く推奨します。

Point

➤ 有効期限の通知について

シークレットの有効期限前にアラーム等の連絡が Microsoft 側から送信されることはありません。

有効期限を過ぎてしまった場合、ユーザは Argus でメールを確認することが出来なくなってしまいます。

期限切れを防ぐ為、Argus のスケジュールをぜひご活用ください。

【例】 Argus スケジュールに登録

件名	: 「Microsoft アプリ : クライアントシークレット有効期限」
スケジュール種別	: 期限
日時	: イベント / 有効期限 1 週間前、当日などの日付
説明	: どこどの画面で設定が必要かを記載しておく
参加者	: 関係者すべてを選択 (複数名登録する事で人事異動等にも対応可能です)
アラーム	: 2 週間前 ~ 0 分前 のいずれかを任意で設定

- 3) クライアントシークレットを追加すると、「値」にシークレットの情報が表示されます。表示されている「値」をコピーし、メモ帳等のツールに一時的に保存します。



Point

➤ クライアントシークレットの保存について

クライアントシークレット値は別の操作を実行すると表示されなくなります。

コピーをする前に別の操作をされた場合は、登録されたクライアントシークレットを削除し、改めて登録をし直して頂く必要があります。

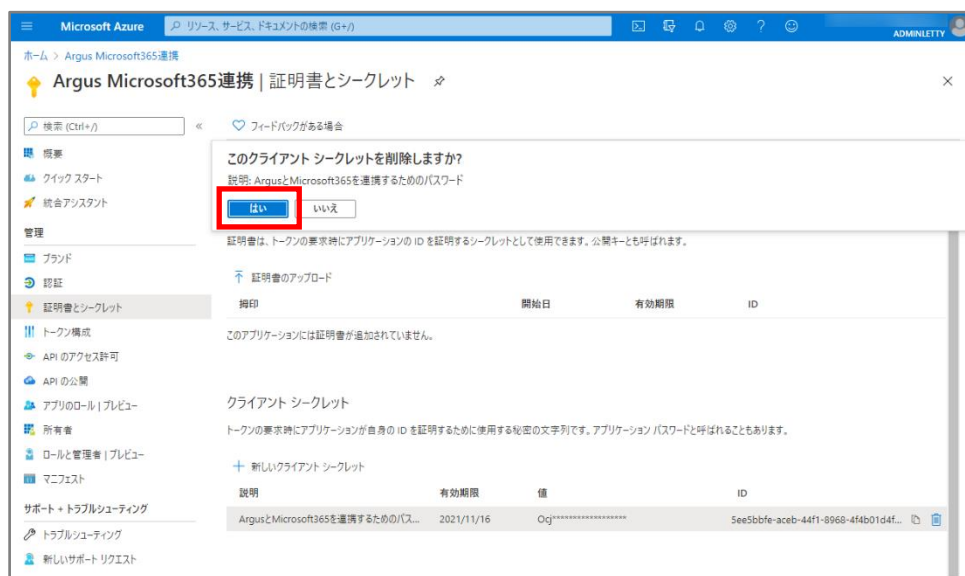
4-2-2 クライアントシークレットの更新手順

クライアントシークレットの期限が切れた場合や、クライアントシークレットの登録の際に「値」をコピーし忘れた場合、既存のクライアントシークレットを削除して再度登録を行います。

- 1) 「証明とシークレット」を押下し、削除対象のクライアントシークレットの「ゴミ箱」を押下します。



- 2) 確認メッセージが表示されるため、削除対象に間違いがないことを確認し、「はい」を押下します。



- 3) 削除が実行されたことを確認し、[クライアントシークレットの登録手順](#) を参考に再度クライアントシークレットを登録します。



Point

- クライアントシークレットの有効期限が経過した後も、上記の手順で有効期限を更新することが可能です。
- 既に [認証プロバイダの設定](#) が完了した状態でクライアントシークレットを更新した場合、Salesforce > 設定 > 認証プロバイダ から「コンシューマの秘密」を更新してください。

4-3 管理者の承諾を与える

管理者の承諾を与えることで [認証プロセス時にユーザが承諾ボタンを押下する作業](#) をスキップする事ができます。(シングルテナントの場合のみ)

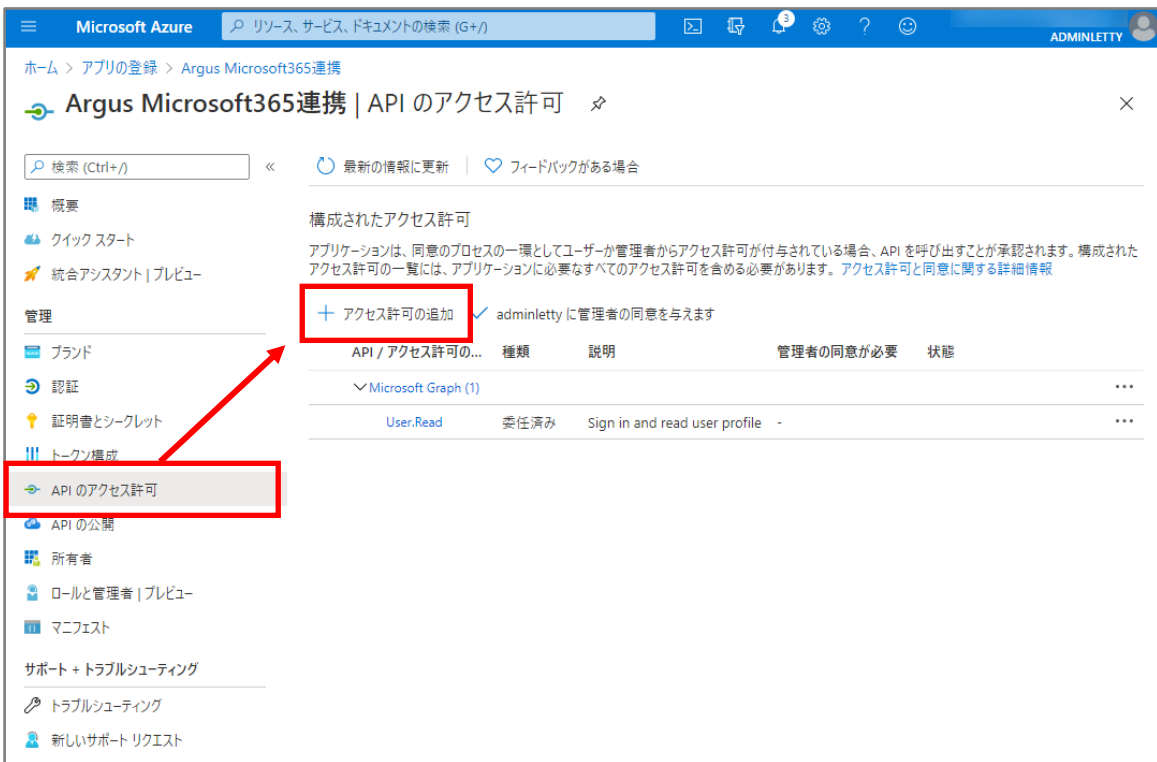
Point

- この手順を省略された場合も Argus との連携を行うことができます。
- この設定は、Microsoft365 の管理者アカウントで行う必要があります。

対象画面	Microsoft Azure > アプリ概要画面（アプリ登録後の画面）
------	--------------------------------------

- 1) 画面左側の「API のアクセス許可」を押下します。
- 2) 「+ アクセス許可の追加」を押下します。

■ Microsoft Azure > アプリの登録 > [登録したアプリ](#) の概要 画面



ホーム > アプリの登録 > Argus Microsoft365連携

Argus Microsoft365連携 | API のアクセス許可 ✕

検索 (Ctrl+/) << 最新の情報に更新 | フィードバックがある場合

概要

クイックスタート

統合アシスタント | プレビュー

管理

ブランド

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

所有者

ロールと管理者 | プレビュー

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

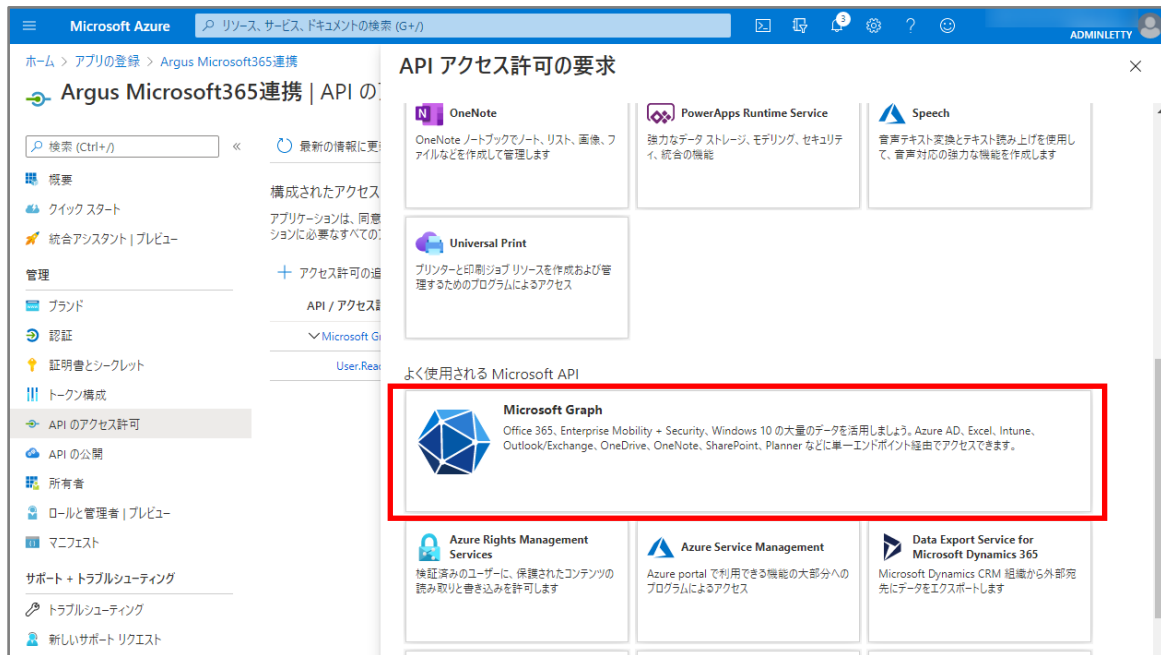
構成されたアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザが管理者からアクセス許可が付与されている場合、API を呼び出すことが承認されます。構成されたアクセス許可の一覧には、アプリケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める必要があります。[アクセス許可と同意に関する詳細情報](#)

+ アクセス許可の追加 ✓ adminletty に管理者の同意を与えます

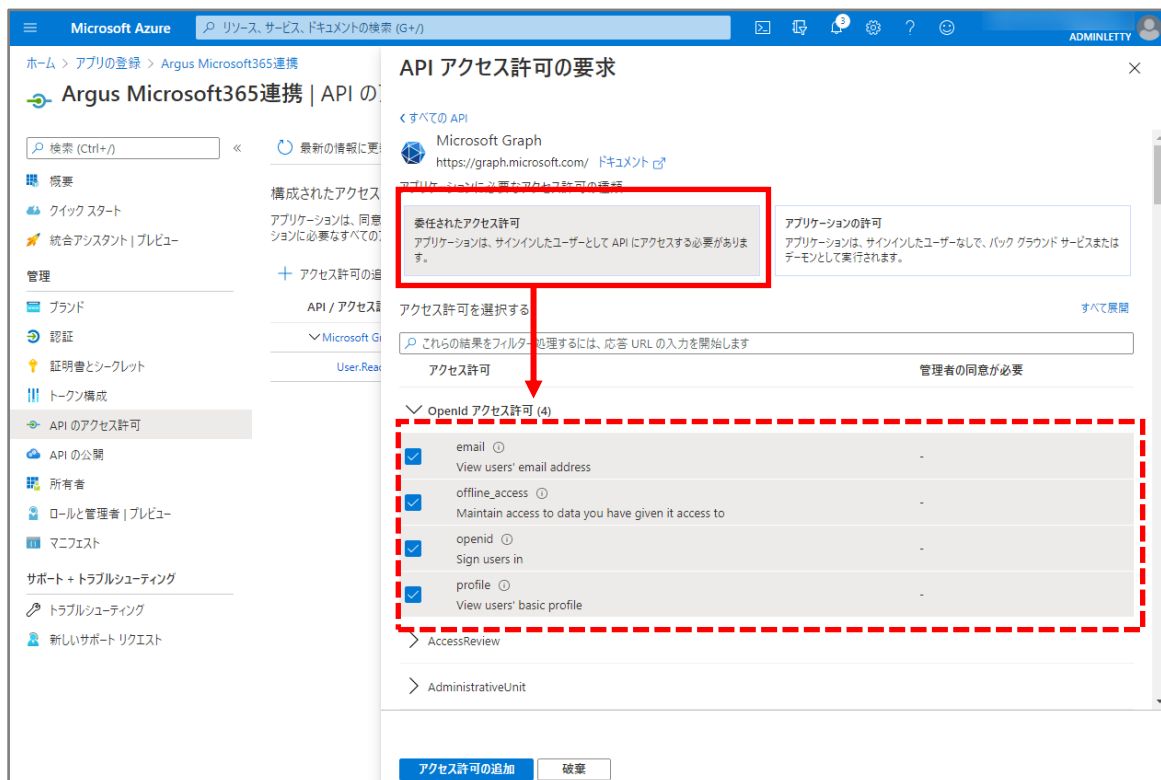
API / アクセス許可の...	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
▼ Microsoft Graph (1)				
User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	-	...

3) 「Microsoft Graph」を押下します。



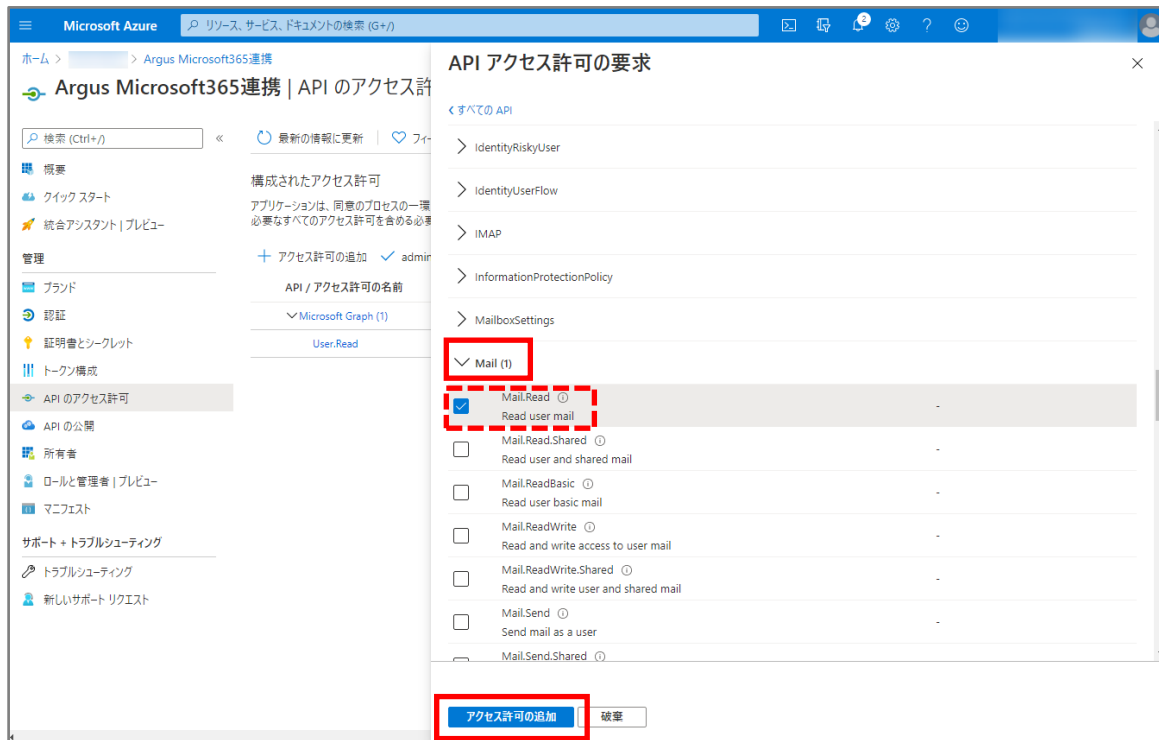
4) 「委任されたアクセス許可」を押下します。

5) 以下の選択値にチェックを入れます。



選択値	「email」、「office_access」、「openid」、「profile」
-----	--

6) 以下の選択値にチェックを入れ、〔アクセス許可の追加〕を押下します。



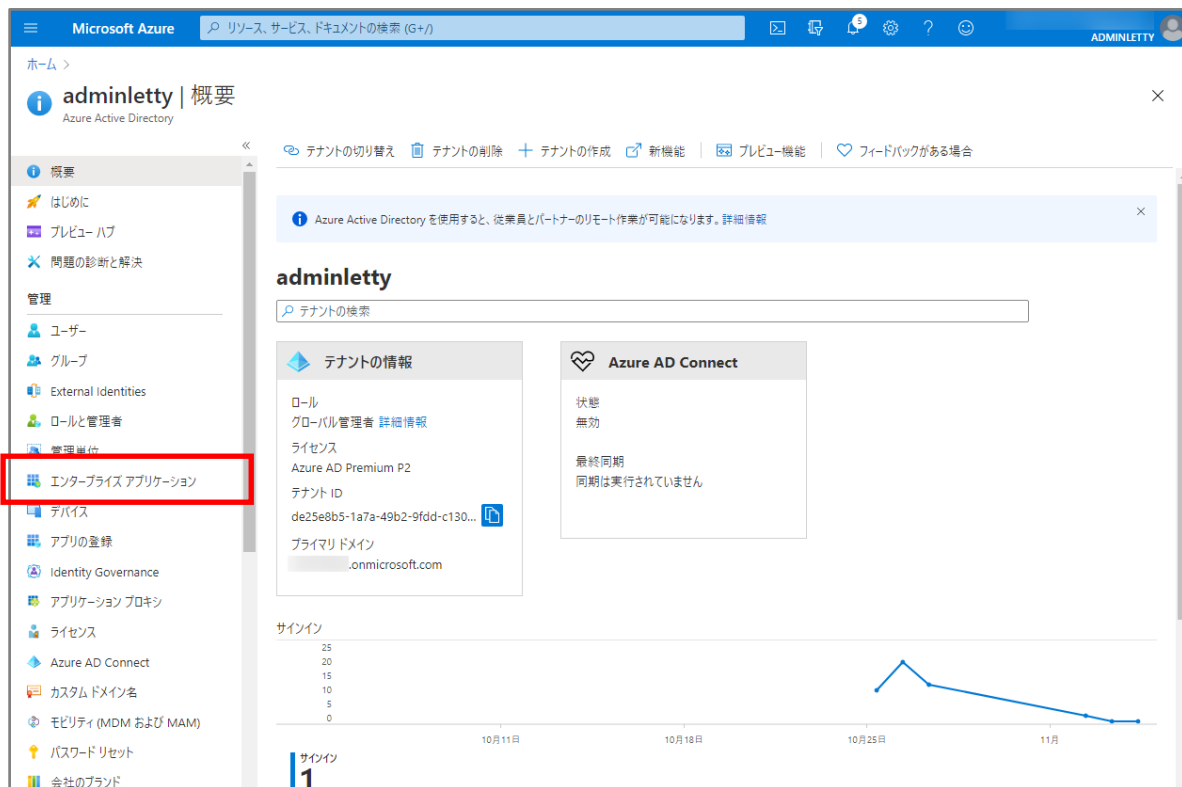
選択値

「Mail.Read」

7) Microsoft Azure > 〔三〕 > Azure Active Directory を押下します

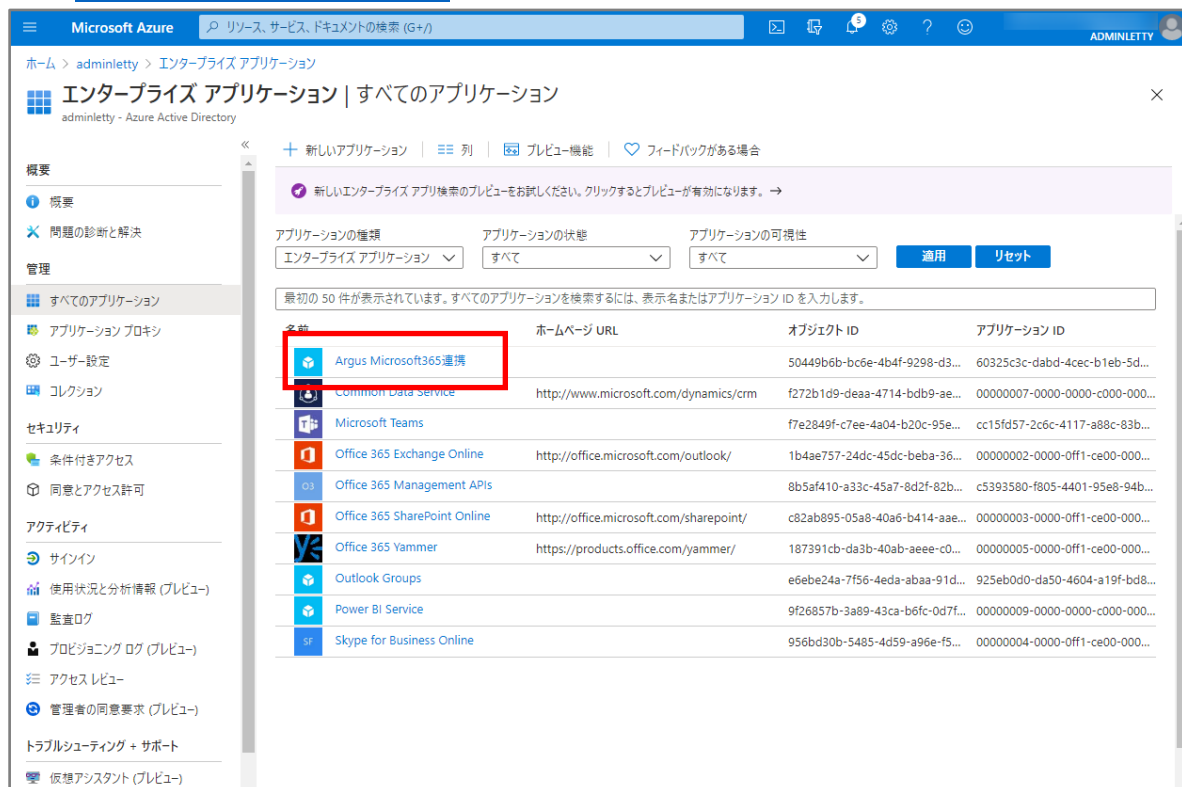


8) 「エンタープライズアプリケーション」を押下します。



9) 承諾を事前に設定したいアプリケーションを押下します。

※ [アプリ \(Microsoft Azure\) の登録](#) で登録されたアプリケーションの名前を選択します。



10) 「アクセス許可」を押下し、「{テナント名}に管理者の同意を与えます」を押下します。



Point

➤ Microsoft Graph について

Microsoft365 のデータにアクセスするための API（別のアプリケーションを連携する窓口となるもの）です。Microsoft365 と Argus を連携するために利用します。

[アプリの登録](#) を行うことで Microsoft Graph を利用可能になります。

4-4 Microsoft Azure に関するご参考 URL

Microsoft Azure に関する参考情報です。

参考リンク

- [Microsoft Azure とは](#)

Microsoft Graph に関する参考情報です。

参考リンク

- [Microsoft Graph とは](#)

5 Salesforce 画面側の設定

Microsoft Azure で登録したアプリケーション情報を Salesforce 側に設定します。

Point

- Microsoft Azure で登録したアプリケーション情報を別の画面で開いた状態で設定を進めて頂くとスムーズです。
- この設定は、Salesforce のシステム管理者ユーザで行う必要があります。

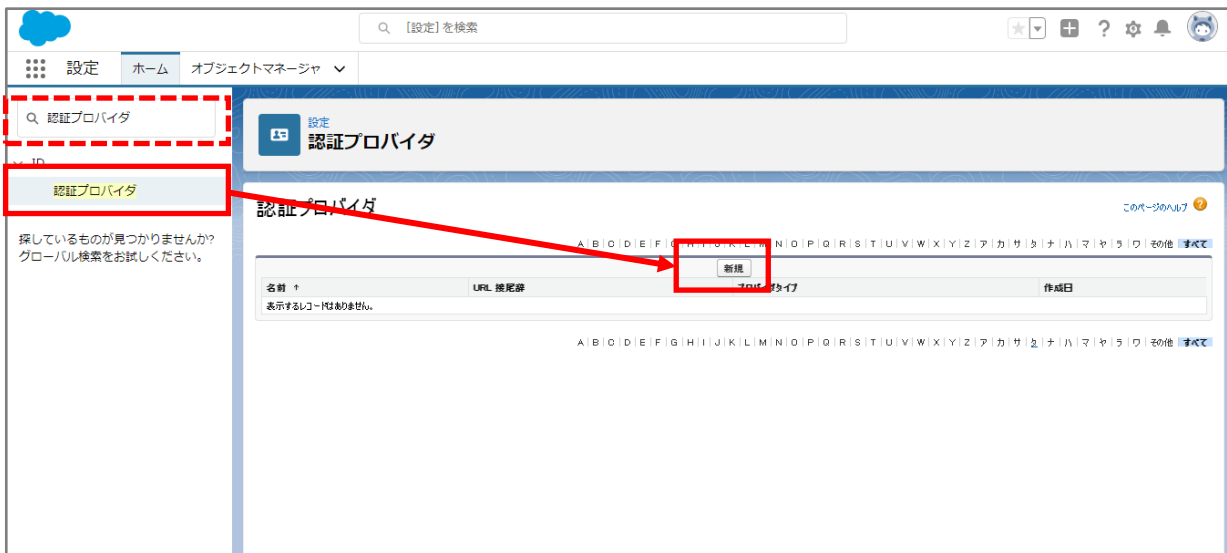
5-1 認証プロバイダの設定

Microsoft Azure で登録した API（Microsoft Graph）を使用するために必要なトークンの取得先を設定します。

対象画面	Salesforce > 設定 > 認証プロバイダ
------	---------------------------

5-1-1 設定手順

- 1) Salesforce > 設定 画面を開き、クイック検索に『認証プロバイダ』と入力し、リンクを押下します。
- 2) 「新規」を押下します。



3) 以下に必要な情報を入力し、〔保存〕を押下します。

The screenshot shows the '認証プロバイダ' (Authentication Provider) configuration page. The form includes the following fields and values:

- プロバイダタイプ: Open ID Connect
- 名前: Microsoft Graph
- URL 接尾辞: Microsoft_Graph
- コンシューマ鍵: 60325c3c-dabd-4cec-b1
- コンシューマの秘密: BeEts4s3C-p.GfGuktoF-m
- 承認エンドポイント URL: https://login.microsoftonline.com/de25e8b5-1a7a-49b2-9fdd-c1308f005301/oauth2/v2
- トークンエンドポイント URL: https://login.microsoftonline.com/de25e8b5-1a7a-49b2-9fdd-c1308f005301/oauth2/v2
- ユーザ情報エンドポイント URL: (empty)
- トークン発行者: (empty)
- デフォルトの範囲: offline_access profile openid
- ヘッダーでアクセストークンを送信: ☒
- API 応答にコンシューマの秘密を含める: ☒
- カスミエラー URL: (empty)
- カスミエロダウト URL: (empty)
- 登録ハンドラ: (empty)
- 他のアカウントで登録を実行: (empty)
- ロール: --なし--
- アイコン URL: (empty)

The '保存' (Save) button is highlighted with a red box at the bottom right of the form.

項目	内容
プロバイダタイプ	『Open ID Connect』を選択します。
名前	任意の名称を設定します。 【設定例】 Microsoft Graph
URL 接尾辞	任意の名称を設定します。 【設定例】 Microsoft_Graph
コンシューマ鍵	アプリの登録 で登録された『アプリケーション(クライアント)ID』を入力します。 ※1
コンシューマの秘密	アプリの登録 でコピーしたクライアントシークレットを入力します。 ※ クライアントシークレットを更新 した場合、こちらの項目も変更してください。
承認エンドポイント URL	アプリの登録 で登録された『OAuth2.0 承認エンドポイント(v2)』を入力します。 ※2
トークンエンドポイント URL	アプリの登録 で登録された『OAuth2.0 トークンエンドポイント(v2)』を入力します。 ※2
ユーザ情報エンドポイント URL	何も入力しません。
トークン発行者	何も入力しません。
デフォルトの範囲	以下の【値】をコピー&ペーストします。 【値】 『offline_access profile openid email mail.read』
ヘッダーでアクセストークンを送信	『チェックあり (v)』の状態にします。

ヘッダーでクライアントログイン情報を送信	何も入力しません。
API 応答にコンシューマの秘密を含める	『チェックあり (✓)』の状態にします。
カスタムエラー URL	何も入力しません。
カスタムログアウト URL	何も入力しません。
登録ハンドラ	何も入力しません。
他のアカウントで登録を実行	何も入力しません。
ポータル	何も入力しません。
アイコン URL	何も入力しません。

※ 1 [アプリ \(Microsoft Azure\) の登録](#) にて登録されたアプリケーションの 概要 よりご確認ください。

※ 2 [アプリ \(Microsoft Azure\) の登録](#) にて登録されたアプリケーションの 概要 > エンドポイント よりご確認ください。

※ 1 『アプリケーション(クライアント)ID』の確認箇所

The screenshot shows the Microsoft Azure portal interface. The left sidebar contains navigation links such as '概要' (Overview), 'クイックスタート', '統合アシスタント | プレビュー', '管理', 'ブランド', '認証', '証明書とシークレット', 'トークン構成', 'API のアクセス許可', 'API の公開', '所有者', 'ロールと管理者 | プレビュー', 'マニフェスト', 'サポート +トラブルシューティング', 'トラブルシューティング', and '新しいサポート リクエスト'. The main content area displays the '概要' (Overview) page for the application 'Argus Microsoft365連携'. The '基本' (Basic) section shows the 'アプリケーション (クライアント) ID' (Application (client) ID) as '60325c3c-dabd-4cec-b1eb-5db7fa00dbc0', which is highlighted with a red box. Other details include the '表示名' (Display name) as 'Argus Microsoft365連携', the 'リダイレクト URI' (Redirect URI) as 'localhost', and the 'アプリケーション ID の URI' (Application ID URI) as 'https://localhost:44300/'. A message at the bottom states: '2020 年 6 月 30 日以降、Azure Active Directory 認証ライブラリ (ADAL) および Azure AD Graph に新しい機能はもう追加されません。テクニカル サポートとセキュリティ更新プログラムは今後も提供されますが、機能更新プログラムは提供されません。アプリケーションを、Microsoft 認証ライブラリ (MSAL) および Microsoft Graph にアップグレードする必要があります。' (Starting June 30, 2020, no new features will be added to the Azure Active Directory authentication library (ADAL) or Azure AD Graph. Technical support and security updates will continue to be provided, but no new feature updates will be provided. You must upgrade your application to the Microsoft authentication library (MSAL) and Microsoft Graph.)

※ 2 『OAuth2.0 承認エンドポイント(v2)』、『OAuth2.0 トークンエンドポイント(v2)』の確認箇所



Point

- Microsoft Azure で [クライアントシークレットの更新](#) を行った場合、「コンシューマの秘密」を合わせて更新してください。

5-2 リモートサイトの設定

この設定により Salesforce で Microsoft365 のメールを取得するための要求が可能になります。

Point

- リモートサイトは2つ登録します。
 メール取得用 <https://graph.microsoft.com>
 ユーザ認証用 <https://login.microsoftonline.com>
- この設定は、Salesforce のシステム管理者ユーザで行う必要があります。

対象画面	Salesforce > 設定 > リモートサイトの設定
------	------------------------------

5-2-1 設定手順

- 1) Salesforce > 設定 画面を開き、クイック検索に『リモートサイトの設定』と入力し、リンクを押下します。
- 2) 〔新規リモートサイト〕を押下します。



- 3) 以下に必要な情報を入力し、〔保存&新規〕を押下します。



項目	内容
リモートサイト名	任意の名称を設定します。 【設定例】 MicrosoftGraph
リモートサイトの URL	『https://graph.microsoft.com』と入力します。
プロトコルセキュリティの無効化	何も入力しません。
説明	任意の説明文を入力します。 ※ 後から確認された際に用途がわかるメモを入力してください。 【設定例】 Microsoft365 連携 メール取得用
有効	『チェックあり (✓)』の状態にします。

4) 同様の手順でリモートサイトをもう 1 つ登録します。

5) 入力が完了したら〔保存〕を押下します。

The screenshot shows the 'Remote Site Settings' page in the Argus application. The page has a sidebar with '設定' (Settings) and 'ホーム' (Home) tabs. The main content area is titled 'リモートサイトの設定' (Remote Site Settings) and 'リモートサイトの編集' (Edit Remote Site). The form contains the following fields:

- リモートサイト名 (Remote Site Name): MicrosoftGraphLogin
- リモートサイトの URL (Remote Site URL): https://login.microsoftonline.com
- プロトコルセキュリティの無効化 (Protocol Security Disable): ☐
- 説明 (Description): Microsoft365連携 ユーザ認証用
- 有効 (Enabled): ☒

The '保存' (Save) button is highlighted with a red box.

項目	内容
リモートサイト名	任意の名称を設定します。 【設定例】 MicrosoftGraphLogin
リモートサイトの URL	『https://login.microsoftonline.com』と入力します。
プロトコルセキュリティの無効化	何も入力しません。
説明	任意の説明文を入力します。 ※ 後から確認された際に用途がわかるメモを入力してください。 【設定例】 Microsoft365 連携 ユーザ認証用
有効	『チェックあり (✓)』の状態にします。

6 Argus 管理者メニューの設定（Microsoft365 メール連携）

Argus と Microsoft365 を連携する為に必要な設定をします。

対象画面	Argus 管理者メニュー > Microsoft365 メール連携
------	------------------------------------

■Argus 管理者メニュー > Microsoft365 メール連携 画面

機能設定

CSV出力

アカウントの設定

認証の取り消し

☒ 未読メールを新着情報ポートレットに表示する

URL :

認証プロバイダ URL 接尾辞 :

出力

※現在のアカウント情報をCSV出力します。

Salesforceユーザidと、Microsoft 365のアカウントの紐づけ情報を一括保存します。

ファイルを選択

選択されていません

一括保存

Salesforceユーザidと、Microsoft 365のアカウントとの認証トークンを取り消します。

対象ユーザ

取消実行

項目	説明	準備して頂く事
機能設定	Microsoft365 メール連携を運用する際の機能を設定します。	リモートサイトの設定 まで完了している必要があります。
CSV 出力	現在登録されている Salesforce のユーザアカウント情報を出力します。	
アカウントの設定	加工した CSV ファイルを取り込み、Salesforce ユーザと Microsoft365 アカウントの紐づけを一括で行います。	Salesforce ユーザと紐づけたい Microsoft365 アカウント情報をリストアップして頂くと設定がスムーズです。
認証の取り消し	Salesforce ユーザと Microsoft365 アカウントとの紐づけを解除します。	解除したいユーザ名をリストアップして頂くと設定がスムーズです。

6 - 1 機能設定

機能設定にて設定可能な項目は以下の通りです。

対象画面	Argus 管理者メニュー > Microsoft365 メール連携 > 機能設定
------	---

画面に以下の表の項目を入力し、〔保存〕を押下します。

※ 設定を変更された際は他の設定画面へ遷移する前に必ず画面上下にある〔保存〕を押下してください。

機能設定

CSV出力

アカウントの設定

認証の取り消し

☒ 未読メールを新着情報ポートレットに表示する

URL :

認証プロバイダ URL 接尾辞 :

出力

※現在のアカウント情報をCSV出力します。

Salesforceユーザidと、Microsoft 365のアカウントの紐づけ情報を一括保存します。

ファイルを選択

選択されていません

一括保存

Salesforceユーザidと、Microsoft 365のアカウントとの認証トークンを取り消します。

対象ユーザ

取消実行

項目	説明	
未読メールを新着情報ポートレットに表示する	✓あり	未読メールを Argus トップページの新着情報ポートレットに表示します。
	✓なし	未読メールを Argus トップページの新着情報ポートレットに表示しません。
URL	『https://graph.microsoft.com』 と入力します。	
認証プロバイダ URL 接尾辞	設定手順 で登録した認証プロバイダの URL 接尾辞を入力します。	

i

Point

- 未読メールを新着情報ポートレットに表示するのチェックボックスを「✓あり」に設定します。

6-2 CSV 出力

Salesforce のユーザアカウント情報と、Microsoft365 のアカウント情報を紐づける為に利用する Salesforce のユーザリストを出力する為の機能です。

出力されたファイルを加工し、[アカウントの設定](#) より取り込みを行う事で一括で紐づけ情報を保存する事ができます。

対象画面	Argus 管理者メニュー > Microsoft365 メール連携 > CSV 出力
------	---

〔出力〕を押下するとファイルのダウンロードが始まります。出力されたファイルを確認してください。

Microsoft 365 メール連携

☒ 未読メールを新着情報ポータルに表示する

URL :

認証プロバイダ URL 接尾辞 :

出力 ※現在のアカウント情報をCSV出力します。

Salesforceユーザidと、Microsoft 365のアカウントの紐づけ情報を一括保存します。

選択されていません

Salesforceユーザidと、Microsoft 365のアカウントとの認証トークンを取り消します。

対象ユーザ

Point

- 〔出力〕でダウンロードした CSV ファイルは、ブラウザの設定により異なります。デフォルトの設定から変更されていない場合、使用している PC の「ダウンロード」フォルダに保存されることが一般的です。
- 〔出力〕でダウンロードした CSV ファイルのファイル名はダウンロードした年月日と時間で判別します。

【例】2020 年 12 月 31 日の 15 時にダウンロードした場合のファイル名は『MS365MailAccountSetting_202012311500.csv』です。

6-3 アカウントの設定

『CSV 出力』にて出力したファイルを加工して《Salesforce ユーザ》と《Microsoft365 アカウント》を紐づけします。加工した CSV ファイルを取り込むことで紐づけ情報を保存します。

Point

- 紐づけの必要がないユーザの行はリストから削除してください。
- ユーザ名をもとに Microsoft365 アカウント情報を入力したら、取り込みの前に「ユーザ名」の列を削除してください。（残したまま取り込みを行うとエラーが発生します。）

6-3-1 CSV ファイルの加工手順

1) [CSV 出力](#) で出力した CSV ファイルを開きます。

	A	B	C
1	ユーザ名	userId__c	MS365Account__c
2	システム 管理者	00528000000U50aAAC	
3	逢坂 隆太	00528000001ENHkAAO	
4	伊藤 花子	00528000001xOmaAAE	
5	加藤 詩織	00528000001ENCXAA4	
6	吉田 たろう	0050K00000AdMeGQAV	
7	掲示板 花子	0050K00000A1M4WQAV	
8	向井 まなみ	00528000001ENCYAA4	
9	高原 友也	00528000001ENC7AAO	
10	佐藤 太郎	00528000001xOnEAAU	
11	志村 雅功	00528000001ENCCAA4	
12	小木 浩介	00528000001ENCaAAO	
13	上山 浩正	00528000001ENCcAAO	
14	瀬戸内 なつみ	00528000001ENHhAAO	
15	清水 精児	00528000001ENCbAAO	
16	川上 ケンイチ	00528000001ENCDA4	
17	大崎 宏	00528000001ENHIAAO	
18	中村 裕介	00528000001xOz0AAE	
19	田中 優子	00528000001xOwaAAE	
20	渡辺 鉄也	00528000001ENHjAAO	
21	百瀬 真美	00528000001ENCWAA4	
22	牧田 奈月	00528000001ENCZAA4	
23	堀田 兼	00528000000U51DAAS	

- 2) アカウントを紐づけたいユーザ行の「MS365Account__c」列に対して、Microsoft365 アカウントのメールアドレスを入力します。

※ 以下の図では「ユーザ名：システム 管理者、逢坂 隆太、伊藤 花子」に対して設定を行っています。

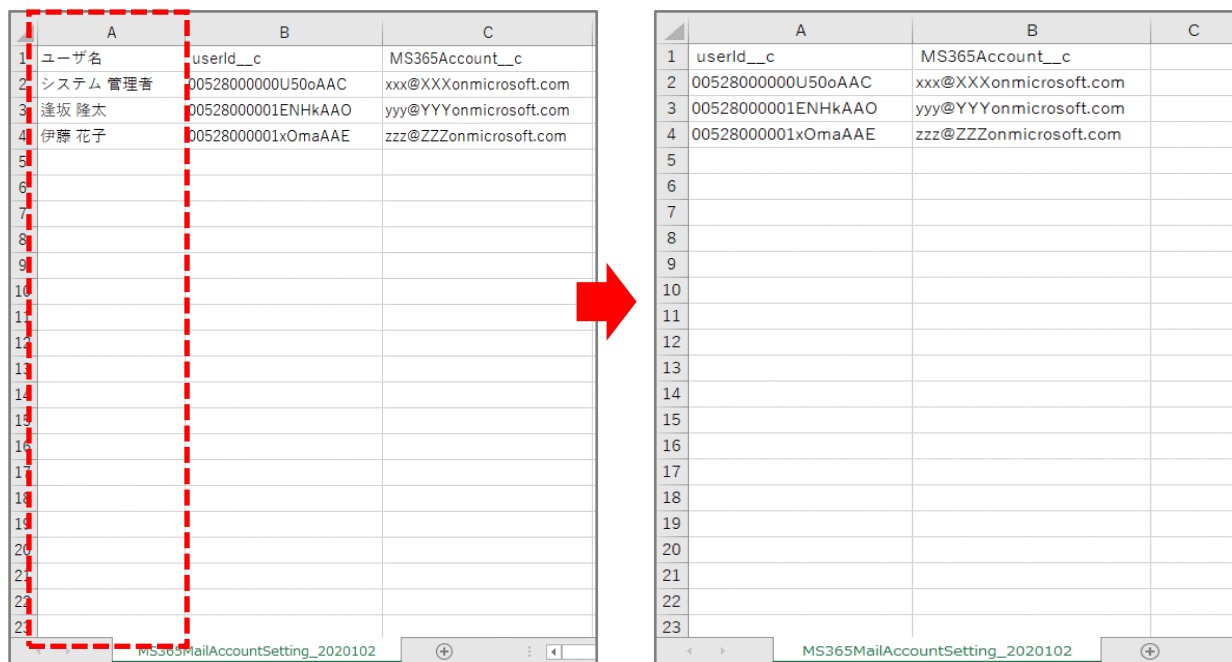
	A	B	C
1	ユーザ名	userId__c	MS365Account__c
2	システム 管理者	00528000000U50oAAC	xxx@XXxonmicrosoft.com
3	逢坂 隆太	00528000001ENHkAAO	yyy@YYyonmicrosoft.com
4	伊藤 花子	00528000001xOmaAAE	zzz@ZZZonmicrosoft.com
5	加藤 詩織	00528000001ENCXAA4	
6	吉田 たろう	0050K00000AdMeGQAV	
7	掲示板 花子	0050K00000A1M4WQAV	
8	向井 まなみ	00528000001ENCYAA4	
9	高原 友也	00528000001ENC7AAO	
10	佐藤 太郎	00528000001xOnEAAU	
11	志村 雅功	00528000001ENCCAA4	
12	小木 浩介	00528000001ENCaAAO	
13	上山 浩正	00528000001ENCcAAO	
14	瀬戸内 なつみ	00528000001ENHhAAO	
15	清水 精児	00528000001ENCbAAO	
16	川上 ケンイチ	00528000001ENCDA4	
17	大崎 宏	00528000001ENHIAAO	
18	中村 裕介	00528000001xOz0AAE	
19	田中 優子	00528000001xOwaAAE	
20	渡辺 鉄也	00528000001ENHjAAO	
21	百瀬 真美	00528000001ENCWAA4	
22	牧田 奈月	00528000001ENCZAA4	
23	堀田 兼	00528000000U51DAAS	

- 3) 紐づけを行わないユーザの行を削除し、〔上書き保存〕をします。

	A	B	C
1	ユーザ名	userId__c	MS365Account__c
2	システム 管理者	00528000000U50oAAC	xxx@XXxonmicrosoft.com
3	逢坂 隆太	00528000001ENHkAAO	yyy@YYyonmicrosoft.com
4	伊藤 花子	00528000001xOmaAAE	zzz@ZZZonmicrosoft.com
5	加藤 詩織	00528000001ENCXAA4	
6	吉田 たろう	0050K00000AdMeGQAV	
7	掲示板 花子	0050K00000A1M4WQAV	
8	向井 まなみ	00528000001ENCYAA4	
9	高原 友也	00528000001ENC7AAO	
10	佐藤 太郎	00528000001xOnEAAU	
11	志村 雅功	00528000001ENCCAA4	
12	小木 浩介	00528000001ENCaAAO	
13	上山 浩正	00528000001ENCcAAO	
14	瀬戸内 なつみ	00528000001ENHhAAO	
15	清水 精児	00528000001ENCbAAO	
16	川上 ケンイチ	00528000001ENCDA4	
17	大崎 宏	00528000001ENHIAAO	
18	中村 裕介	00528000001xOz0AAE	
19	田中 優子	00528000001xOwaAAE	
20	渡辺 鉄也	00528000001ENHjAAO	
21	百瀬 真美	00528000001ENCWAA4	
22	牧田 奈月	00528000001ENCZAA4	
23	堀田 兼	00528000000U51DAAS	

	A	B	C
1	ユーザ名	userId__c	MS365Account__c
2	システム 管理者	00528000000U50oAAC	xxx@XXxonmicrosoft.com
3	逢坂 隆太	00528000001ENHkAAO	yyy@YYyonmicrosoft.com
4	伊藤 花子	00528000001xOmaAAE	zzz@ZZZonmicrosoft.com
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			

4) 「ユーザ名」列を削除します。



	A	B	C
1	ユーザ名	userid__c	MS365Account__c
2	システム 管理者	00528000000U50oAAC	xxx@XXXonmicrosoft.com
3	逢坂 隆太	00528000001ENHkAAO	yyy@YYYonmicrosoft.com
4	伊藤 花子	00528000001xOmaAAE	zzz@ZZZonmicrosoft.com
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			

	A	B	C
1	userid__c	MS365Account__c	
2	00528000000U50oAAC	xxx@XXXonmicrosoft.com	
3	00528000001ENHkAAO	yyy@YYYonmicrosoft.com	
4	00528000001xOmaAAE	zzz@ZZZonmicrosoft.com	
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			

5) 「名前を付けて保存」でファイル名の先頭に『取り込み用』などを付加して別名で保存します。

【例】取り込み用_MS365MailAccountSetting_20201231500.csv

Point

以下の理由からダウンロードして加工したファイルと、実際に Argus に取り込むファイルは、別名で保存することを強くお勧めします。

- 一旦取り込みを行ったファイルの内容で修正が発生した場合、再度ファイルを作り直す必要がない。
- 次の [ファイルの一括保存](#) をする際にファイルの選択が容易になる。

※ 取り込みの際に「ユーザ名」の列を削除する為、エラー等で一部修正が必要になった際にどのユーザの修正が必要かわかり辛くなってしまいう事が懸念されます。

6-3-2 ファイルの一括保存

対象画面 Argus 管理者メニュー > Microsoft365 メール連携 > アカウントの設定

- 1) Argus 管理者メニュー > Microsoft365 メール連携 > アカウントの設定に戻り、〔ファイルを選択〕を押下します。

Microsoft 365 メール連携

機能設定 ☒ 未読メールを新着情報ポートレットに表示する

URL :

認証プロバイダ URL 接尾辞 :

出力 ※現在のアカウント情報をCSV出力します。

SalesforceユーザIDと、Microsoft 365のアカウントの紐づけ情報を一括保存します。

ファイルを選択 選択されていません **一括保存**

SalesforceユーザIDと、Microsoft 365のアカウントとの認証トークンを取り消します。

対象ユーザ

- 2) [ファイルの加工手順](#) で保存したファイルを選択します。

PC > ダウンロード

名前	更新日時	種類
MS365MailAccountSetting_202010270945.csv	2020/10/27 9:50	Microsoft
MS365MailAccountSetting_202010261441.csv	2020/10/26 14:40	Microsoft
MS365MailAccountSetting_202010260907.csv	2020/10/26 9:07	Microsoft

- 3) 〔一括実行〕を押下します。

Microsoft 365 メール連携

機能設定 ☒ 未読メールを新着情報ポートレットに表示する

URL :

認証プロバイダ URL 接尾辞 :

出力 ※現在のアカウント情報をCSV出力します。

SalesforceユーザIDと、Microsoft 365のアカウントの紐づけ情報を一括保存します。

一括保存

SalesforceユーザIDと、Microsoft 365のアカウントとの認証トークンを取り消します。

対象ユーザ

- 4) 『〔Microsoft365 メール連携〕アカウントの一括保存処理をスケジュールしました』という確認ダイアログが表示されたら、〔OK〕を押下します。

...--argusgw.ap6.visual.force.com に埋め込まれているページの内容

(Microsoft 365 メール連携) アカウントの一括保存処理をスケジュールしました

OK

5) 「保存」を押下します。

Microsoft 365 メール 連携

☒ 未読メールを新着情報ポートレットに表示する

URL :

認証プロバイダ URL 接尾辞 :

※現在のアカウント情報をCSV出力します。

Salesforceユーザidと、Microsoft 365のアカウントの紐づけ情報を一括保存します。

MS365Mail-0260907.csv

Salesforceユーザidと、Microsoft 365のアカウントとの認証トークンを取り消します。

対象ユーザ

6) Argus トップページ > 新着情報ポートレットに Microsoft365 メール が表示されていることを確認します。

Argus トップページ > 新着情報ポートレットに Microsoft365 メール が表示されていることを確認します。

Argus トップページ > 新着情報ポートレットに Microsoft365 メール が表示されていることを確認します。

2020年4月の全社イベント

1日：入社式 9:00～ 本社大会議室
6日～10日：展示会 (●●事業部) 10:00～ ●●産業会館
24日：2021年度新入社員向け 会社説明会 13:30～ 本社大会議室

スケジュール 2020年10月23日 (金) ～ 11月5日 (木)

10/23 (金) 10/24 (土) 10/25 (日) 10/26 (月) 10/27 (火) 10/28 (水) 10/29 (木)

新着情報

スケジュール

掲示板

文書管理

Active mail

Microsoft 365 メール

アカウント : testAddress@test.onmicrosoft.com

Microsoft 365 認証を行ってください。
以下のリンクをクリックし認証を行った後、再度Argusトップページを再描画してください。

[認証ページへのリンク](#)

◆必読 (未確認)

タイトル	フォルダ	更新者	更新
インフルエンザ補助金について	総務課...	堀田 ...	20/05/18
インフルエンザ補助金について	総務課...	堀田 ...	19/01/11
人事情報 (代表取締役のお知...	総務課...	堀田 ...	18/12/04
【緊急】システムメンテナ...	システ...	川上 ...	18/07/18
昇給についてのお知らせ	総務課...	山田 ...	18/05/22

未確認：他 4 件

◆管理者が設定したフォルダ

グループタスク

自分のタスク ○ 依頼したタスク

未完了が 0 件 (他人からの依頼が 0 件)

発生日 期日 タイトル 状況 担当

チェックした項目の処理 未着手 状況を更新

ToDo

自分のToDo ○ 依頼したToDo ※未完了のものが表示されます

未完了が 4 件 (他人からの依頼が 4 件)

期日 作成者 件名 状況

6-3-3 取り込み状況の確認

[ファイルの一括保存](#) の実行状況を確認することができます。

対象画面 Salesforce > 設定 > 環境 > ジョブ > Apex ジョブ

- 1) Salesforce > 設定 画面を開き、クイック検索に『Apex ジョブ』と入力し、リンクを押下します。
- 2) 以下のレコードの状況をご確認ください。

■ Apex ジョブ 画面

The screenshot shows the Salesforce 'Apex Jobs' page. The left sidebar contains navigation links like 'ホーム', 'オブジェクトマネージャ', 'ユーザーインターフェース', 'カスタムコード', '開発', '環境', 'Sandbox', 'システムの概要', 'ジョブ', 'Apex Flex キュー', 'Apex ジョブ', 'スケジュール済みジョブ', 'バックグラウンドジョブ', and '一括データ読み込みジョブ'. The main content area is titled 'Apex ジョブ' and includes a search bar and a table of job records. The table has columns for 'ジョブ ID', 'ジョブ 状態', '開始日時', '終了日時', '実行回数', '失敗回数', '実行管理者', 'ジョブ クラス', 'ジョブ ID', and 'ジョブ クラス'. The first row is highlighted with a red box, showing a job that is '完了' (Completed) at 2020/10/22 16:28, with class name 'MicrosoftAccountSettingBatch'.

状態	説明	
状況	キュー	ジョブは実行待ちです。
	準備中	ジョブの start メソッドが呼び出されました。この状況は、レコードのバッチサイズに応じて数分かかることがあります。
	処理中	ジョブは処理中です。
	中止	ジョブはユーザによって中止されました。
	完了	ジョブはエラーあり/なしで完了しました。
	失敗	ジョブでシステム障害が発生しました。
Apex クラス	MicrosoftAccountSettingBatch	

※ 「状況」が失敗となった場合は、お手数ですが Argus サポートデスクまでお問い合わせください。

6-4 認証の取り消し

Salesforce アカウントと Microsoft365 アカウントの認証を解除することが可能です。

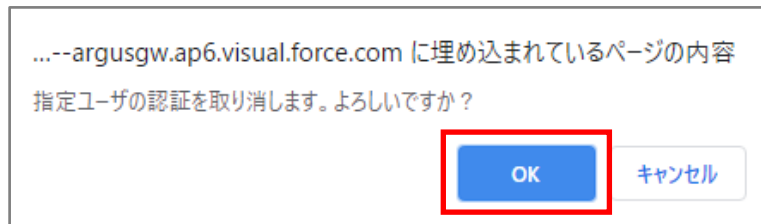
対象画面 Argus 管理者メニュー > Microsoft365 メール連携 > 認証の取り消し

- 1) Argus 管理者メニュー > Microsoft365 メール連携 > 認証の取り消し を開きます。
- 2) 〔虫眼鏡〕マークを押下します。

- 3) ポップアップで表示される画面から、認証を解除したい《ユーザ》を選択します。

- 4) 〔取消実行〕を押下します。

- 5) 『指定ユーザの認証を取り消します。よろしいですか?』という確認ダイアログが表示されたら、〔OK〕を押下します。

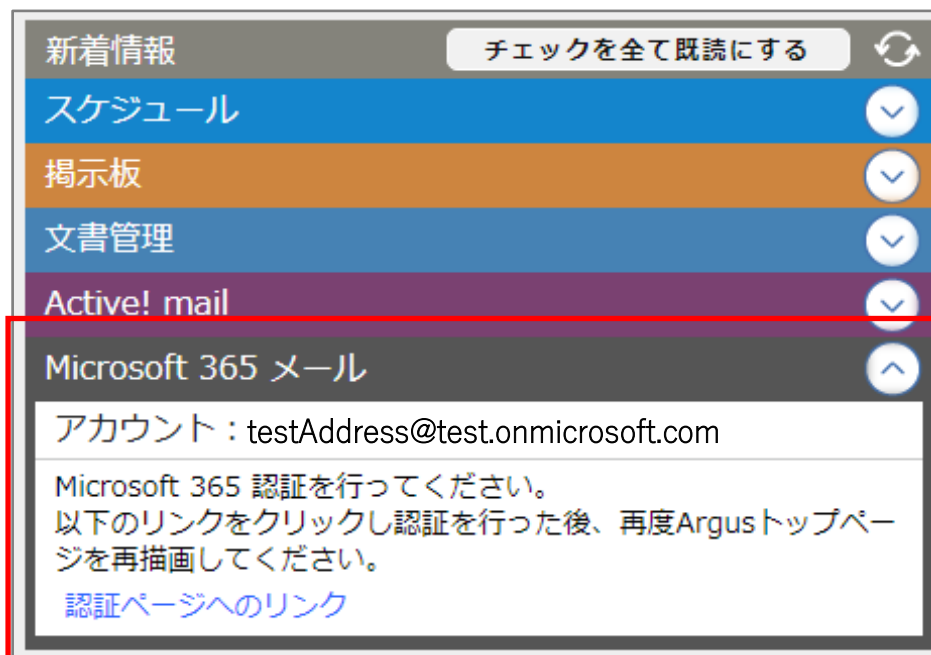


- 6) 『認証の取り消しが完了しました』というダイアログが表示されたら、〔OK〕を押下します。



- 7) Argus トップページに戻り、認証が解除されていることを確認します。

■ Microsoft365 アカウントと認証を解除したユーザの Argus トップページ 新着情報ポートレット



7 Argus 管理者メニューの設定（トップページ）

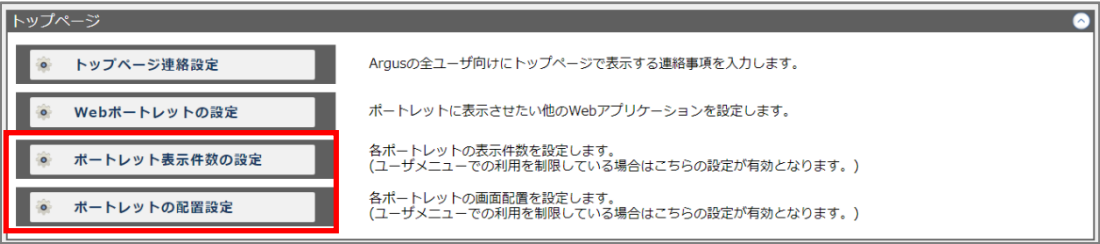
Argus 管理者メニューより、ポートレットの表示位置、件数を設定することが可能です。

Point

- Microsoft365 の新着メールの情報は、「新着情報」ポートレットに表示されます。トップページに必ず「新着情報」ポートレットを表示し、Microsoft365 メールが 1 件以上となるよう設定してください。（デフォルトは 5 件です。）
- 「ポートレット表示件数の設定」、「ポートレットの配置設定」について、ユーザメニューに表示するか否かは、「管理者メニュー > ユーザメニューの利用制限」での設定によります。ユーザメニューに表示していない場合は、管理者メニューでの設定内容が有効になります。
- 「ポートレット表示件数の設定」、「ポートレットの配置設定」について、既にユーザ側で一度設定されている場合はユーザの設定が有効となります。この場合は各ユーザにて同じ設定をして頂く必要があります。（手順については [Argus ユーザメニューの設定（トップページ）](#) をご参照ください。）

対象画面	Argus 管理者メニュー > トップページ
------	------------------------

■Argus 管理者メニュー > トップページ



項目	説明
ポートレット表示件数の設定	各ポートレットの表示件数を設定します。
ポートレットの配置設定	ポートレットの配置および、ポートレットの表示/非表示を設定します。

7-1 ポートレット表示件数の設定

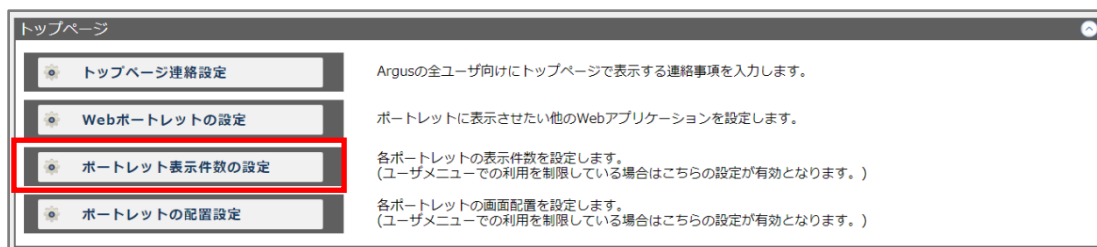
ポートレットの表示件数を 0~20 件の範囲で設定することが可能です。

Microsoft365 新着メール情報を利用する場合は、「Microsoft365 メール」ポートレットの表示件数を 1 件以上に設定する必要があります。

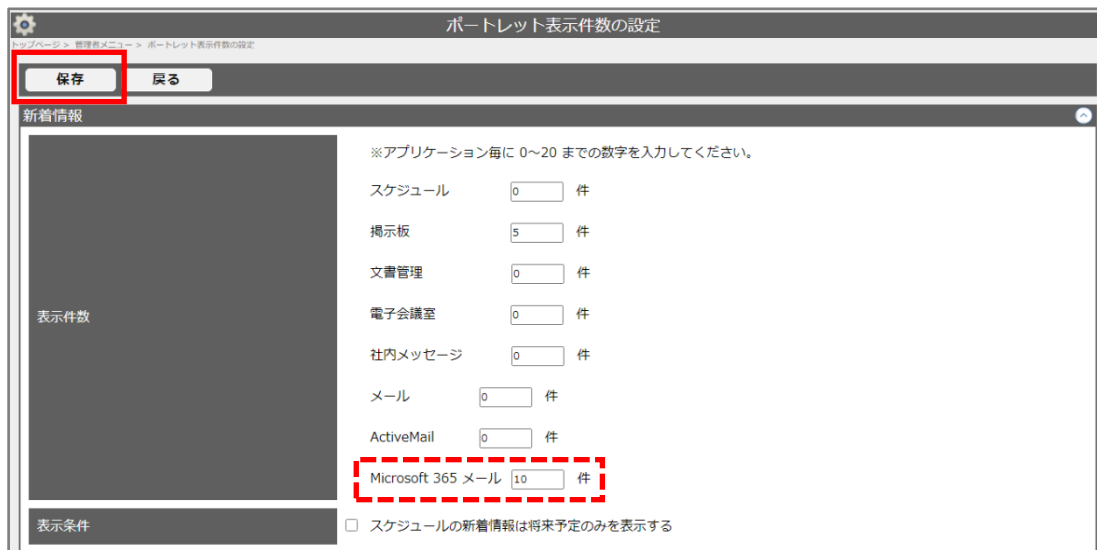
対象画面	Argus 管理者メニュー > トップページ > ポートレット表示件数の設定
------	--

7-1-1 ポートレット表示件数の設定手順

1) Argus 管理者メニュー > トップページ > 「ポートレット表示件数の設定」 を押下します。



2) Microsoft365 メールの入力欄に『1~20』の数字を半角で入力し、「保存」を押下します。



■管理者メニューから Microsoft365 メールポートレットの表示件数を 10 件に設定した場合

新着情報			
チェックを全て既読にする			
掲示板			
☐ タイトル	フォルダ	更新者	更新日時
☐ 今週のMTG結果	営業部日報	堀田 兼(経営)	04/13 15:44
☐ 掲示板の使い方	FAQ	川上 ケンイチ(株式会社Argus_全社員)	07/10 14:41
☐ 6/6日報	営業部日報	堀田 兼(経営)	06/07 14:43
☐ 2018/7/13 日報	営業部日報	川上 ケンイチ(経営)	06/07 13:03
☐ 2019年4月1日付 組織図	第一営業G 掲示板	川上 ケンイチ(株式会社Argus_全社員)	04/04 10:27

Microsoft 365 メール		
アカウント : testAddress@test.onmicrosoft.com		
件名	送信者	日時
Weekly digest: Microsoft service updates	Microsoft 365 Message Center	11/23 12:03
MyAnalytics へようこそ	MyAnalytics	11/23 07:16
Message Center Major Change Update Notification	Microsoft 365 Message Center	11/23 02:21
Message Center Major Change Update Notification	Microsoft 365 Message Center	11/22 15:29
Message Center Major Change Update Notification	Microsoft 365 Message Center	11/22 09:14
Message Center Major Change Update Notification	Microsoft 365 Message Center	11/21 17:22
Message Center Major Change Update Notification	Microsoft 365 Message Center	11/21 09:04
Message Center Major Change Update Notification	Microsoft 365 Message Center	11/20 14:16
Azure AD Identity Protection Weekly Digest	Microsoft Azure	11/18 18:21
Weekly digest: Microsoft service updates	Microsoft 365 Message Center	11/16 11:59

■管理者メニューから Microsoft365 メールポートレットの表示件数を 0 件に設定した場合

新着情報			
チェックを全て既読にする			
掲示板			
☐ タイトル	フォルダ	更新者	更新日時
☐ 今週のMTG結果	営業部日報	堀田 兼(経営)	04/13 15:44
☐ 掲示板の使い方	FAQ	川上 ケンイチ(株式会社Argus_全社員)	07/10 14:41
☐ 6/6日報	営業部日報	堀田 兼(経営)	06/07 14:43
☐ 2018/7/13 日報	営業部日報	川上 ケンイチ(経営)	06/07 13:03
☐ 2019年4月1日付 組織図	第一営業G 掲示板	川上 ケンイチ(株式会社Argus_全社員)	04/04 10:27

Point

- Microsoft365 新着メール情報は「Microsoft365 メール」ポートレットの表示件数を 1 件以上に設定してください。(0 件の場合は Microsoft365 メールの枠が表示されません。)

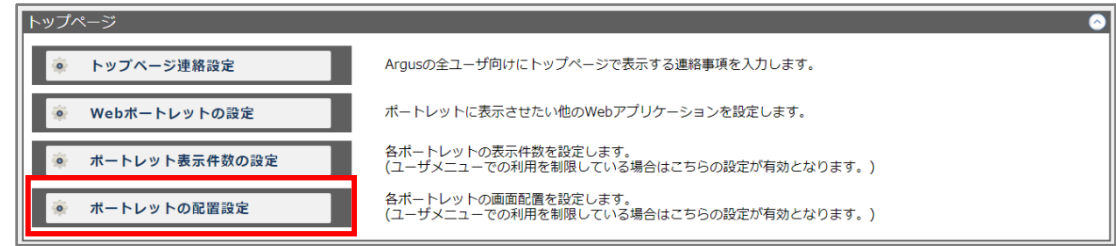
7-2 ポートレットの配置設定

ポートレットの配置をドラッグアンドドロップで変更・設定することが可能です。
Microsoft365 新着メール情報を利用する場合は、「新着情報」ポートレットを表示する必要があります。

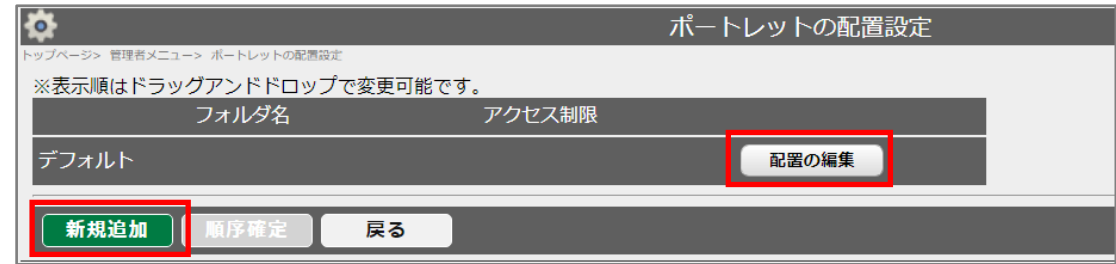
対象画面	Argus 管理者メニュー > トップページ > ポートレットの配置設定
------	--------------------------------------

7-2-1 ポートレットの配置設定手順

1) Argus 管理者メニュー > トップページ > 「ポートレットの配置設定」 を押下します。



2) 「新規追加」または、「デフォルト」フォルダの「配置の編集」を押下します。



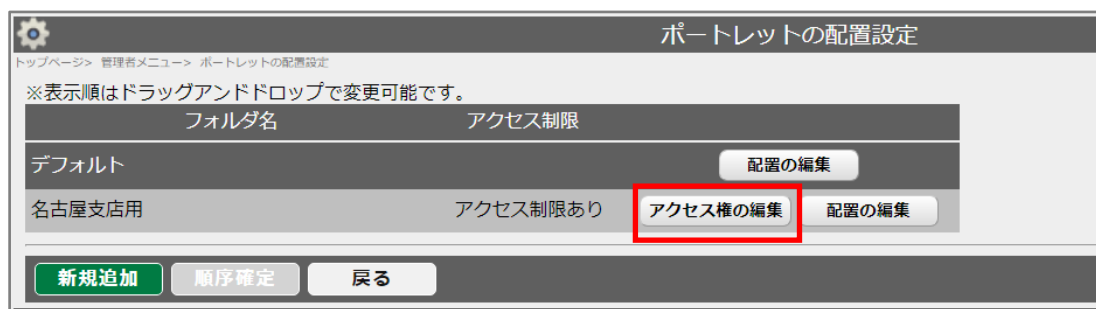
3) 任意の『フォルダ名』を入力し、「新着情報」ポートレットをドラッグアンドドロップで設定し、「保存」を押下します。



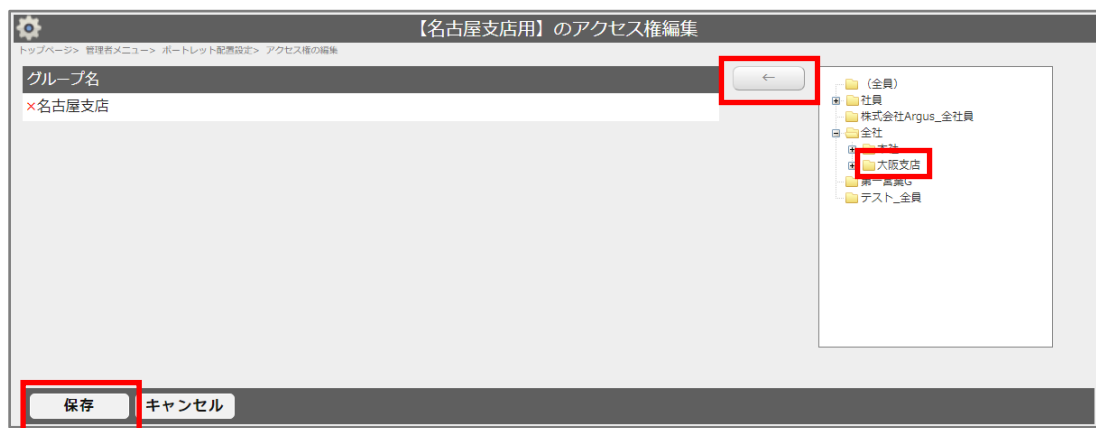
項目	
フォルダ名	ポートレットの配置を管理するフォルダ名を入力します。 【設定例】 名古屋支店用

スケジュール	✓あり	トップページにログインユーザのスケジュールを表示します。
	✓なし	トップページにログインユーザのスケジュールを表示しません。
ポートレット キャンバス	「新着情報」と、その他に表示するポートレットをドラッグアンドドロップで配置します。	
非表示にする ポートレット	非表示にするポートレットをドラッグアンドドロップで配置します。	
〔保存〕	入力されているフォルダ名とポートレットの配置を保存して、ポートレットの配置設定画面へ遷移します。	
〔削除〕	ポートレット情報（フォルダ）を削除して、ポートレットの配置設定画面へ遷移します。 ポートレットの配置設定から〔新規追加〕または「デフォルト」フォルダの〔配置の編集〕を押下した場合、〔削除〕は表示されません。	
〔キャンセル〕	ポートレットの配置設定画面へ遷移します。設定した内容は保存されません。	

4) 〔アクセス権の編集〕を押下します。



5) アクセス権を与える公開グループを選択した状態で〔←〕を押下して、〔保存〕を押下します。



■ポートレット配置の例

ポートレット配置の編集

保存 削除 キャンセル

フォルダ名

※ドラッグアンドドロップで各ポートレットを移動させてください

スケジュール

☐ トップページにスケジュールを表示する

新着情報

電話メモ

在席確認

掲示板

非表示にするポートレット

ToDo 文書管理 リンク集 社内メッセージ



新着情報

Microsoft 365 メール

アカウント: testAddress@test.onmicrosoft.com

件名	送信者	日時
Weekly digest: Microsoft service updates	Microsoft 365 M...	11/23 12:03
MyAnalytics へようこそ	MyAnalytics	11/23 07:16
Message Center Major Change Update Notification	Microsoft 365 M...	11/23 02:21
Message Center Major Change Update Notification	Microsoft 365 M...	11/22 15:29
Message Center Major Change Update Notification	Microsoft 365 M...	11/22 09:14

電話メモ

自分宛 受付分 ※未確認のものが表示されます

日時	From	連絡	伝言内容	受付者
確認 新規登録				

在席確認

09/17 (木) 14:02
更新者: 堀田 兼(経営)
●●様 19:00帰社予定

外出 在席 離席 外出 帰宅 休暇

連絡メモ 更新

掲示板

◆必読 (未確認)

タイトル	フォルダ	更新者	更新日時
インフルエンザ補助金について	総務課からの...	堀田 兼(経営)	20/05/18 (月) 14:10
インフルエンザ補助金について	総務課からの...	堀田 兼(経営)	19/01/11 (金) 10:46
人事情報 (代表取締役のお知らせ)	総務課からの...	堀田 兼(経営)	18/12/04 (火) 17:35
【緊急】システムメンテナンスにつ...	システム管理...	川上 ケンイチ...	18/07/18 (水) 13:...
昇給についてのお知らせ	総務課からの...	山田 美帆(株...	18/05/22 (火) 15:...

i Point

- 「ポートレットの配置設定」の“デフォルト”は全ユーザに対して有効です。ユーザによって配置レイアウトを分ける必要のない場合は、このデフォルトの配置設定を変更・設定して頂ければ、新たに作成される必要はございません。（“デフォルト”には「アクセス権の設定」はありません。）

8 Argus ユーザメニューの設定（トップページ）

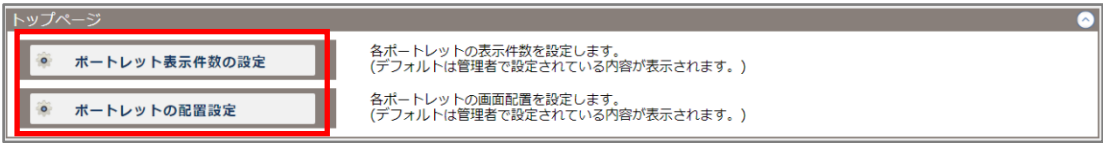
Argus ユーザメニューでは、予め管理者にて「ポートレットの表示件数の設定」、「ポートレットの配置設定」の利用が可能な場合に、ユーザのお好みに合わせてポートレットの件数、表示位置を設定することが可能です。

Point

- 「ポートレット表示件数の設定」、「ポートレットの配置設定」は、管理者にて設定を許可されている場合にユーザメニューに表示されます。
- Microsoft365 の新着メール情報は、「新着情報」ポートレットに表示されます。トップページに必ず「新着情報」ポートレットを表示し、Microsoft365 メール の件数が 1 件以上となるように設定してください。
- 「ポートレット表示件数の設定」、「ポートレットの配置設定」について、既にユーザ側で一度設定されている場合はユーザの設定が有効となります。

対象画面	Argus ユーザメニュー > トップページ
------	------------------------

■Argus ユーザメニュー > トップページ



項目	内容	準備して頂く事
ポートレット表示件数の設定	各ポートレットの表示件数を設定します。	管理者メニューで利用を許可されている必要があります。
ポートレットの配置設定	ポートレットの配置および、ポートレットの表示/非表示を設定します。	管理者メニューで利用を許可されている必要があります。

8-1 ポートレット表示件数の設定

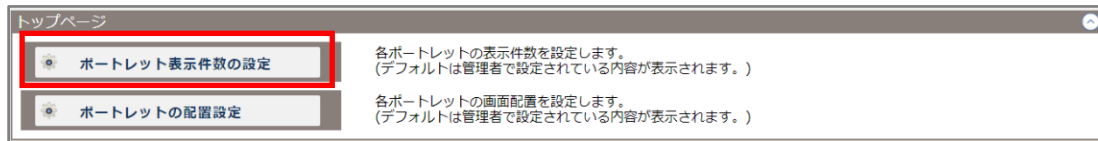
ポートレットの表示件数を 0~20 件の範囲で設定することが可能です。

Microsoft365 新着メール情報を利用する場合は、「Microsoft365 メール」ポートレットの表示件数を 1 件以上に設定する必要があります。

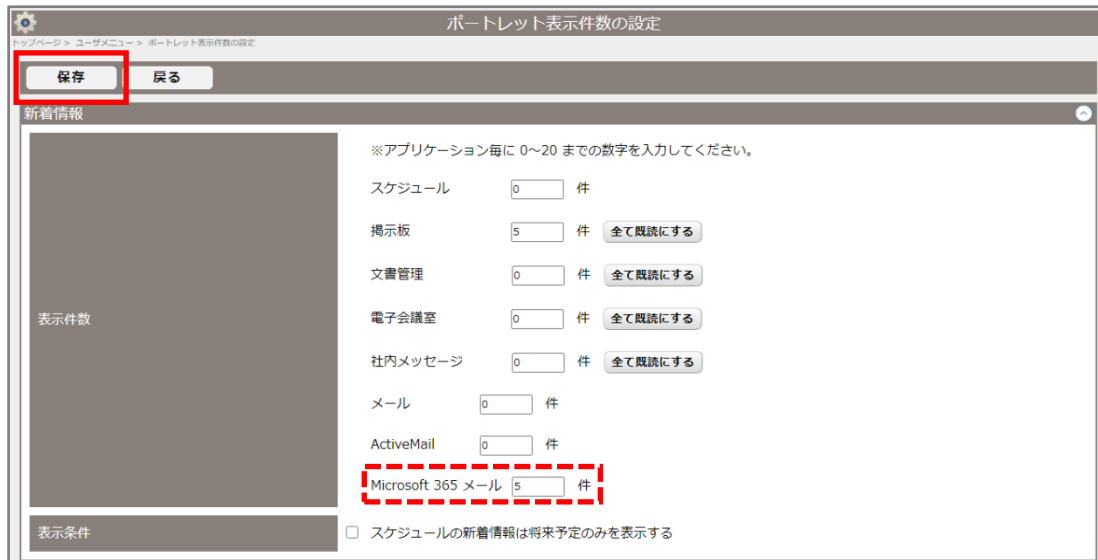
対象画面 Argus ユーザメニュー > トップページ > ポートレット表示件数の設定

8-1-1 ポートレットの表示件数の設定手順

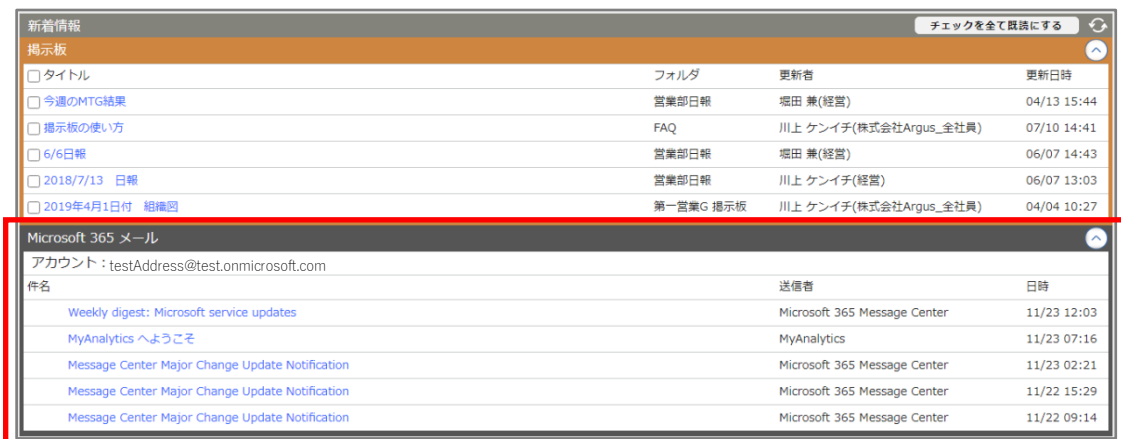
1) Argus ユーザメニュー > トップページ > 「ポートレット表示件数の設定」を押下します。



2) Microsoft365 メールの入力欄に『1~20』の数字を半角で入力し、「保存」を押下します。



■ ユーザメニューから Microsoft365 メールポートレットの表示件数を 5 件に設定した場合



■ ユーザメニューから Microsoft365 メールポートレットの表示件数を 0 件に設定した場合

新着情報			
掲示板			
☐ タイトル	フォルダ	更新者	更新日時
☐ 今週のMTG結果	営業部日報	堀田 兼(経営)	04/13 15:44
☐ 掲示板の使い方	FAQ	川上 ケンイチ(株式会社Argus_全社員)	07/10 14:41
☐ 6/6日報	営業部日報	堀田 兼(経営)	06/07 14:43
☐ 2018/7/13 日報	営業部日報	川上 ケンイチ(経営)	06/07 13:03
☐ 2019年4月1日付 組織図	第一営業G 掲示板	川上 ケンイチ(株式会社Argus_全社員)	04/04 10:27

 Point

- Microsoft365 新着メール情報は「Microsoft365 メール」ポートレットの表示件数を 1 件以上に設定してください。(0 件の場合は Microsoft365 メールの枠が表示されません。)

8-2 ポートレットの配置設定

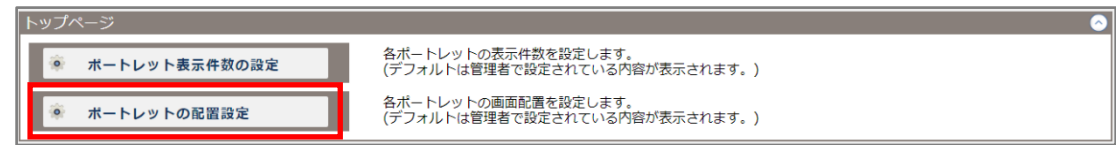
ポートレットの配置をドラッグアンドドロップで変更・設定することが可能です。

Microsoft365 新着メール情報を利用する場合は、「新着情報」ポートレットを表示する必要があります。

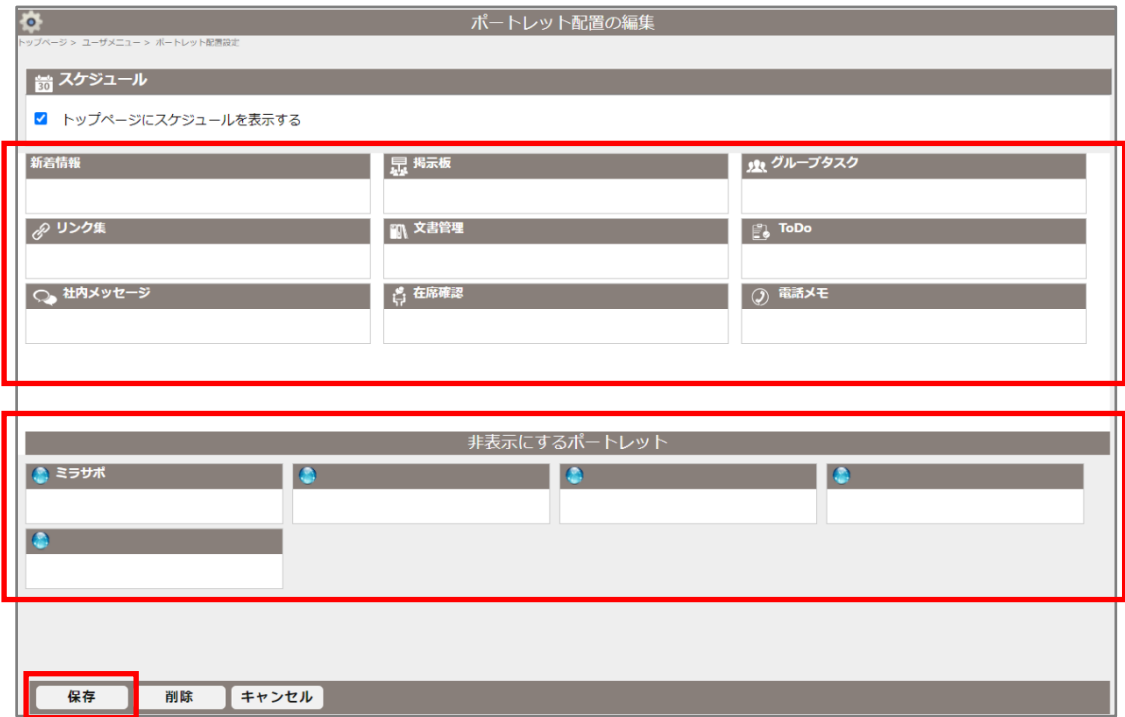
対象画面	Argus ユーザメニュー > トップページ > ポートレットの配置設定
------	--------------------------------------

8-2-1 ポートレットの配置設定手順

1) Argus ユーザメニュー > トップページ > 「ポートレットの配置設定」 を押下します。



2) 「新着情報」ポートレットをドラッグアンドドロップで設定し、「保存」を押下します。



項目	説明	
スケジュール	✓あり	トップページにログインユーザのスケジュールを表示します。
	✓なし	トップページにログインユーザのスケジュールを表示しません。
ポートレットキャンバス	「新着情報」と、その他に表示するポートレットをドラッグアンドドロップで配置します。	
非表示にするポートレット	非表示にするポートレットをドラッグアンドドロップで配置します。	
〔保存〕	入力されているフォルダ名とポートレットの配置を保存して、ユーザメニュー画面へ遷移します。	
〔削除〕	ポートレット情報を削除して、ユーザメニュー画面へ遷移します。	

	削除した場合、管理者メニューにて設定されている〔ポートレットの配置設定〕が有効になります。 ユーザメニューにて〔ポートレットの配置設定〕が未設定の場合、〔削除〕は表示されません。
〔キャンセル〕	ユーザメニュー画面へ遷移します。設定した内容は保存されません。

■ポートレット配置の例

ポートレット配置の編集

スケジュール

☐ トップページにスケジュールを表示する

新着情報

To Do

電話メモ

在席確認

リンク集

非表示にするポートレット

掲示板 文書管理 社内メッセージ グループタスク

新着情報

チェックを全て既読にする

掲示板

タイトル	フォルダ	更新者	更新日時
☐ 今週のMTG結果	営業部...	堀田 兼(経営)	04/13 15:44
☐ 掲示板の使い方	FAQ	川上 ケイイチ(株...	07/10 14:41
☐ 6/6日報	営業部...	堀田 兼(経営)	06/07 14:43
☐ 2018/7/13 日報	営業部...	川上 ケイイチ(株...	06/07 13:03
☐ 2019年4月1日付 組織図	第一営...	川上 ケイイチ(株...	04/04 10:27

Microsoft 365 メール

アカウント: testAddress@test.onmicrosoft.com

件名	送信者	日時
Weekly digest: Microsoft service updates	Microsoft 365 M...	11/23 12:03
MyAnalytics へようこそ	MyAnalytics	11/23 07:16
Message Center Major Change Update Notification	Microsoft 365 M...	11/23 02:21
Message Center Major Change Update Notification	Microsoft 365 M...	11/22 15:29
Message Center Major Change Update Notification	Microsoft 365 M...	11/22 09:14

To Do

☒ 自分のToDo ☐ 依頼したToDo ※未完了のものが表示されます

未完了が 4件 (他人からの依頼が 4件)

期日	作成者	件名	状況
☐ 01/19	大崎 宏	資料作成	未着手

電話メモ

☒ 自分宛 ☐ 受付分 ※未確認のものが表示されます

日時	From	連絡	伝言内容	受付者
☐ 01/22 (火) 13:22	☆☆☆☆株式...	お電話があり...	お疲れ様です...	システム 管理...
☐ 09/17 (木) 14:02	〇〇様TELLあり	お電話があり...	折り返しお電...	堀田 兼(経営)

上記を含め 2件 あります

確認 新規登録

在席確認

09/17 (木) 14:02

更新者: 堀田 兼(経営)

●●様 19:00帰社予定

外出

在席 離席 外出 帰宅 休暇

連絡メモ

更新

リンク集

共有リンク

- 健康保険組合 会社が所属している健康保険組合です。各種手続きの方法や、メンタルヘルス。
- リゾート 施設情報一覧 会社が契約しているリゾート施設で、会員価格で利用することが可能
- 〇〇市スポーツ・レクリエーション情報 〇〇市のスポーツ・レクリエーション施設をWEB検索・予約す
- 株式会社レッツディ
- 経営グループ向け参考リンク
 - 給与基準について 給与基準についての参考URLです
- その他リンク
 - Salesforce

9 Microsoft365 アカウントを認証

この設定により、Microsoft365 アカウントと Salesforce ユーザの認証が完了した後、Argus で認証した Microsoft365 アカウントのメールを確認することが可能になります。

9-1 コールバック URL を登録

Microsoft365 認証ページのコールバック URL を設定します。

■コールバック URL 確認画面

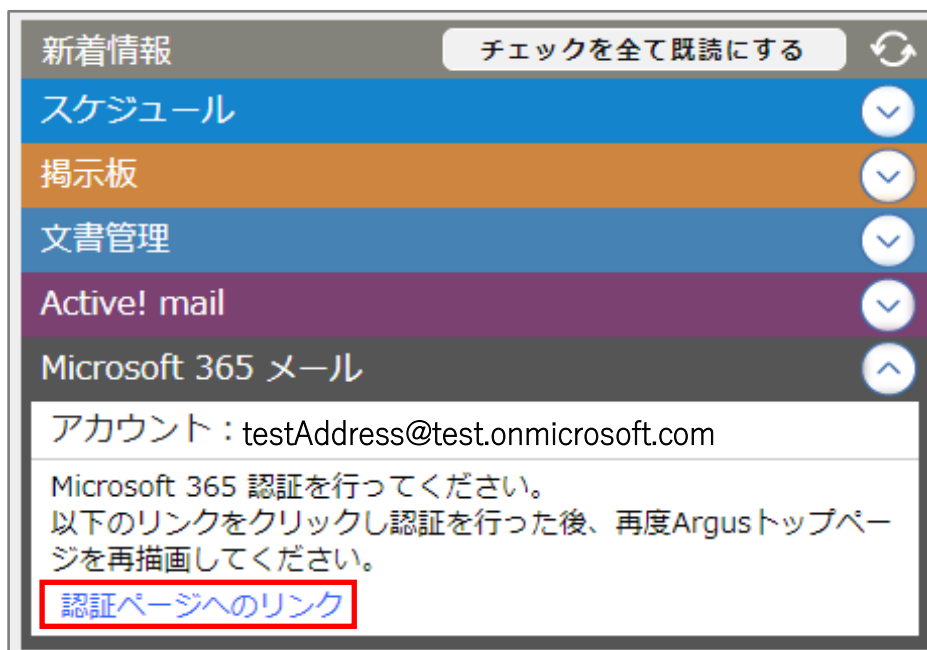
対象画面	Argus トップページ > 新着情報ポートレット > Microsoft365 メール
------	--

■コピーしたコールバック URL の設定画面

対象画面	Microsoft Azure > アプリの登録 > 認証
------	-------------------------------

9-1-1 設定手順

- 1) Argus トップページ > 新着情報ポートレット > Microsoft365 メール > 〔認証ページへのリンク〕 を押下します。

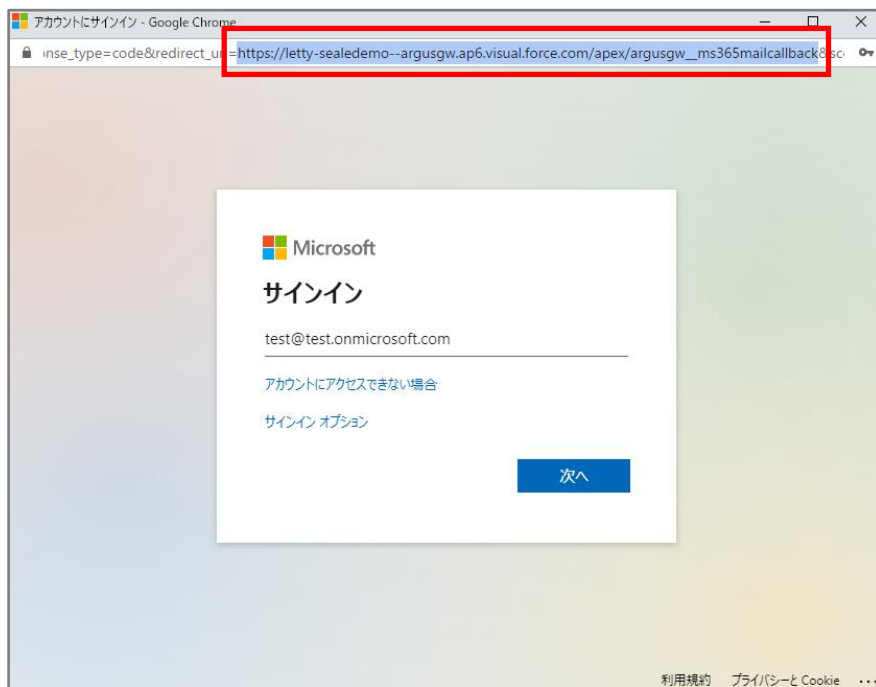


2) ポップアップで表示された画面のコールバック URL のみをコピーします。

※ ポップアップで表示された画面の URL 中央箇所「https://letty-sealedemo--argusgw.ap6.visual.force.com/apex/argusgw__ms365mailcallback&scope=offline_access%20profile%20openid%20email%20mail.read&prompt=login」をコピーします。

【例】 以下の URL の場合、背景色が黄色の箇所のみをコピーします。

```
https://login.microsoftonline.com/de25e8b5-1a7a-49b2-9fdd-  
c1308f005301/oauth2/v2.0/authorize?client_id=60325c3c-dabd-4cec-b1eb-  
5db7fa00dbc0&response_type=code&redirect_uri=https://letty-sealedemo--  
argusgw.ap6.visual.force.com/apex/argusgw__ms365mailcallback&scope=offline_access%20profile%20  
openid%20email%20mail.read&prompt=login
```



3) Microsoft Azure > [アプリの登録](#) で設定したアプリケーション > [認証] > [プラットフォームを追加] > [Web] の順に押下します。



4) 画面に以下の表の値を入力し、〔構成〕を押下します。

項目	値
リダイレクト URI	2) でコピーしたコールバック URL を入力します。
ログアウト URL	何も入力しません。
アクセストークン	『チェックあり (✓)』の状態にします。
ID トークン	『チェックあり (✓)』の状態にします。

Microsoft Azure | リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > アプリの登録 > Argus Microsoft365連携

Argus Microsoft365連携 | 認証

検索 (Ctrl+F) | 保存 | 破棄 | フィードバックがある場合

概要

クイックスタート

統合アシスタント | プレビュー

管理

ブランド

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

所有者

ロールと管理者 | プレビュー

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

プラットフォーム構成

このアプリケーションが対象としているプラットフォームまたはデバイスによっては、リダイレクト URI、イールドなど追加構成が必要となる場合があります。

+ プラットフォームを追加

サポートされているアカウントの種類

このアプリケーションを使用したりこの API にアクセスしたりできるのはだれですか?

☒ この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント (株式会社レティティのみ - シングル テナント)

☐ 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント)

[判断に役立つヘルプを表示...](#)

⚠ サポートされている機能が一時的に異なるため、既存の登録に関して個人用 Microsoft アカウントを有効にする必要がある場合、マニフェスト エディタを使用して有効にできます。

詳細設定

既定のクライアントの種類 ☐

アプリケーションは、パブリック クライアントとして扱います。
リダイレクト URI が使用されていないフローを使用するのに必要です。

- リソース所有者の (スワード資格情報 (ROPC) [詳細情報](#))
- デバイス コード フロー [詳細情報](#)
- 統合 Windows 認証 (WA) [詳細情報](#)

Web の構成

すべてのプラットフォーム | クイックスタート | ドキュメント

リダイレクト URI

ユーザー認証に成功した後に認証応答 (トークン) を返すときに宛先として受け入れる URI。応答 URL と呼ばれます。リダイレクト URI と制約の詳細情報

https://letty-sealedemo--argusgw.ap6.visual.force.com/apex/argusgw_ms365mailcallb...

ログアウト URL

ここでは、アプリケーションがユーザーのセッション データをクリアするように要求を送信します。これは、シングル サインアウトが正常に動作するために必要です。

例: <https://myapp.com/logout>

暗黙の付与

アプリケーションが承認エンドポイントから直接トークンを要求することを許可します。アクセストークンと ID トークンの両方が帰還されるのは、アプリケーションがシングルページアプリケーション (SPA) を備えている場合、バックエンド コンポーネントがなく認証コード フローで MSAL.js の最新バージョンを使用していない場合、JavaScript を使用して Web API を呼び出す場合だけです。ASP.NET Core Web アプリには ID トークンが必要です。 [暗黙的な許可フローの詳細](#)

暗黙的な許可フローを有効にするには、承認エンドポイントが発行するトークンを選択してください。

☒ アクセストークン

☒ ID トークン

構成 | キャンセル

9-2 テナント別の認証設定

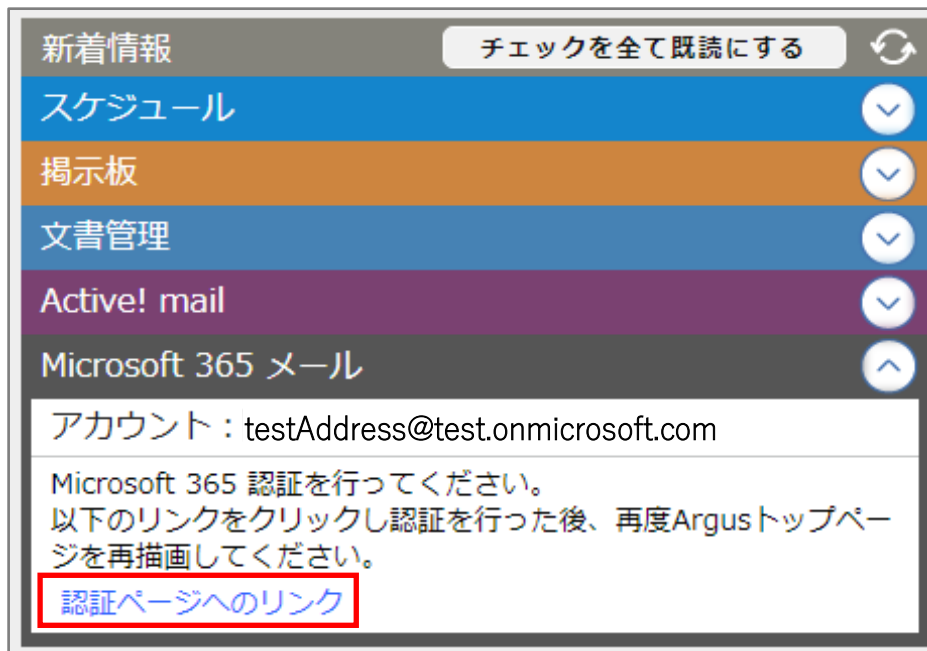
[アプリの登録](#) で登録したアカウントの種類により、設定方法が異なります。

- A) [アプリを登録したテナントから利用する場合](#)
- B) [アプリを登録したテナントとは別のテナントから利用する場合](#)

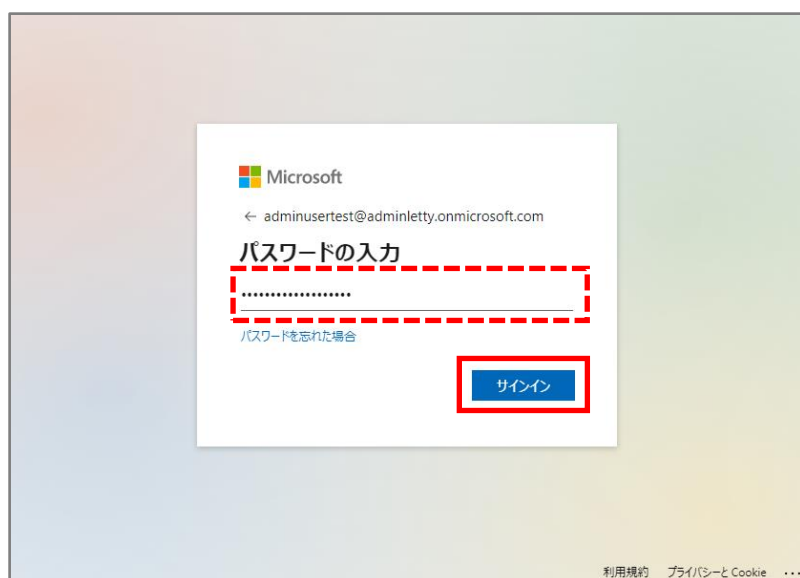
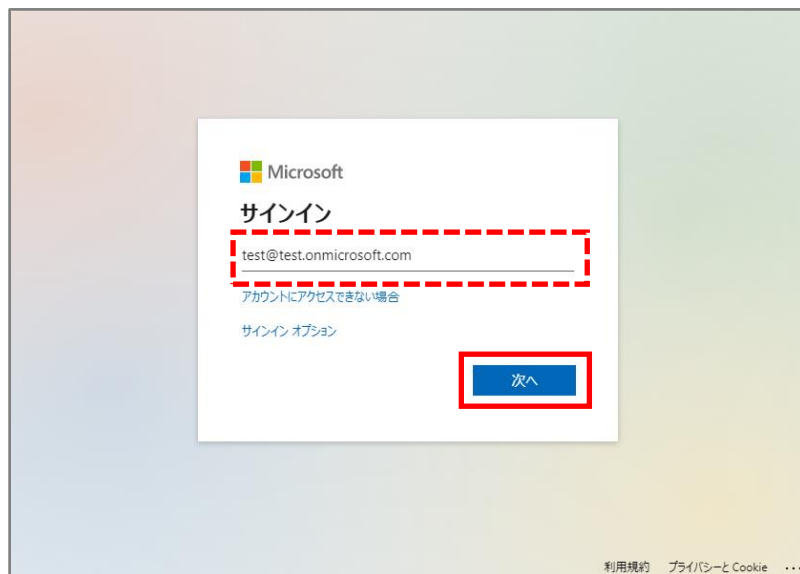
9-2-1 アプリを登録したテナントから利用する場合（A）

対象画面	Argus トップページ > 新着情報ポートレット > Microsoft365 メール
------	--

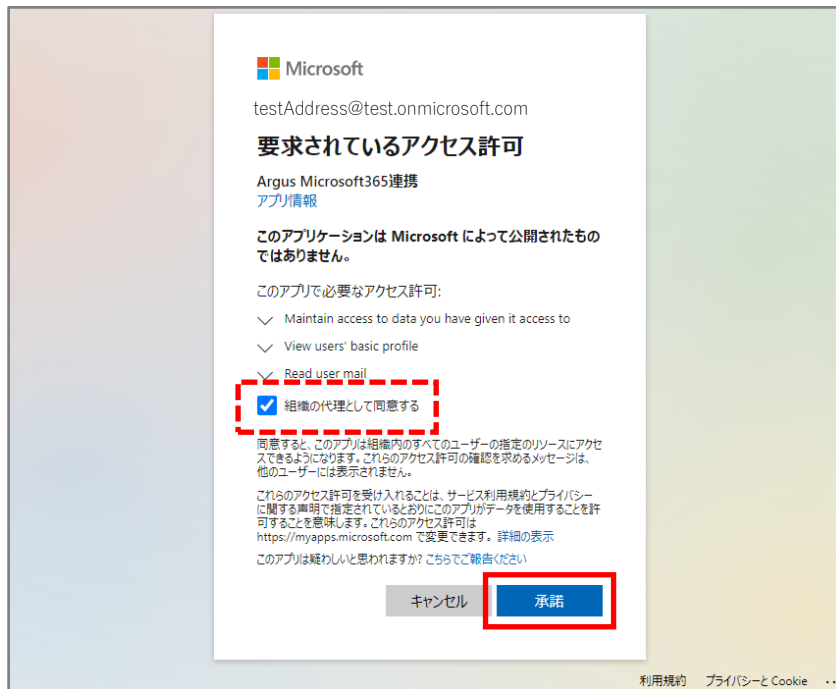
- 1) Argus トップページ > 新着情報ポートレット > Microsoft365 メール > 認証ページのリンク を押下します。



- 2) ポップアップウィンドウで表示された認証ページにて、[アカウントの設定](#) で紐づけされているアカウントでログインします。



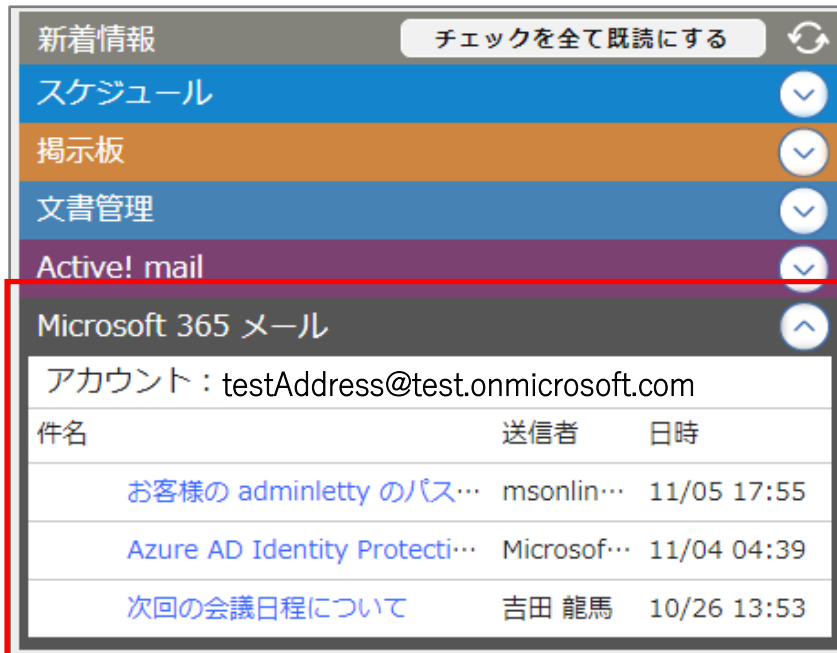
3) 初回の認証の場合、承諾画面が表示されるため〔承諾〕を押下します。



- ※ Microsoft365 管理者ユーザで認証を行った場合、チェック項目が表示されます。チェックを入れて〔承諾〕を押下すると、他のユーザで〔承諾〕押下の作業を省略することが可能です。
- ※ 承諾画面の設定は [管理者の承諾を与える](#) を設定している場合、スキップされます。

4) 認証に成功した場合ポップアップウィンドウが閉じます。

Argus トップページで再描画（更新）を行うと新着情報ポートレットに新着メールが表示されます。



 Point

- 承諾画面で 組織の代理として同意する をチェックありにして〔承諾〕を押下することで、その後他のユーザでの認証がスムーズに行うことが可能です。
- エラー画面は画面に表示されるエラー内容を確認して、別紙「OptionGuide_Microsoft365_ErrorList」を参考に再度設定を行います。

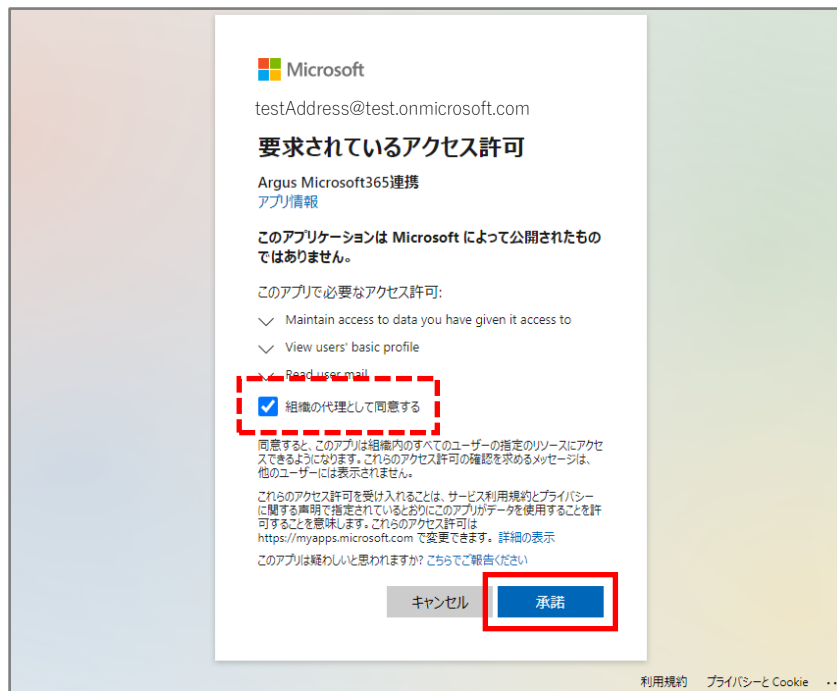
9-2-2 アプリを登録したテナントとは別のテナントから利用する場合（B）

各テナントの Microsoft365 管理者ユーザで設定を行います。その後、設定したテナントに所属するユーザが認証可能になります。

- 1) [アプリを登録したテナントから利用する場合](#) の手順 1) ～ 4) と同じ設定を各テナントの管理者ユーザで行います。

組織の代理として同意する にチェックを入れて〔承諾〕を押下します。

対象画面	Argus トップページ > 新着情報ポートレット > Microsoft365 メール
対象ユーザ	Microsoft365 テナント管理者



※ 管理者で認証を行うため、チェックを入れて〔承諾〕を押下します。チェックを入れ忘れた場合でも、後で設定することが可能です。

- 2) 1) で設定したテナントに所属する各ユーザで [アプリを登録したテナントから利用する場合](#) の手順 1) ～ 2) の作業を行った後、画面を再描画（更新）します。

対象画面	Argus トップページ > 新着情報ポートレット > Microsoft365 メール
対象ユーザ	1) で設定したテナントに所属する各 Salesforce ユーザ

※ 事前に管理者ユーザで認証設定を行っているため、アクセス許可 の承諾画面は表示されません、

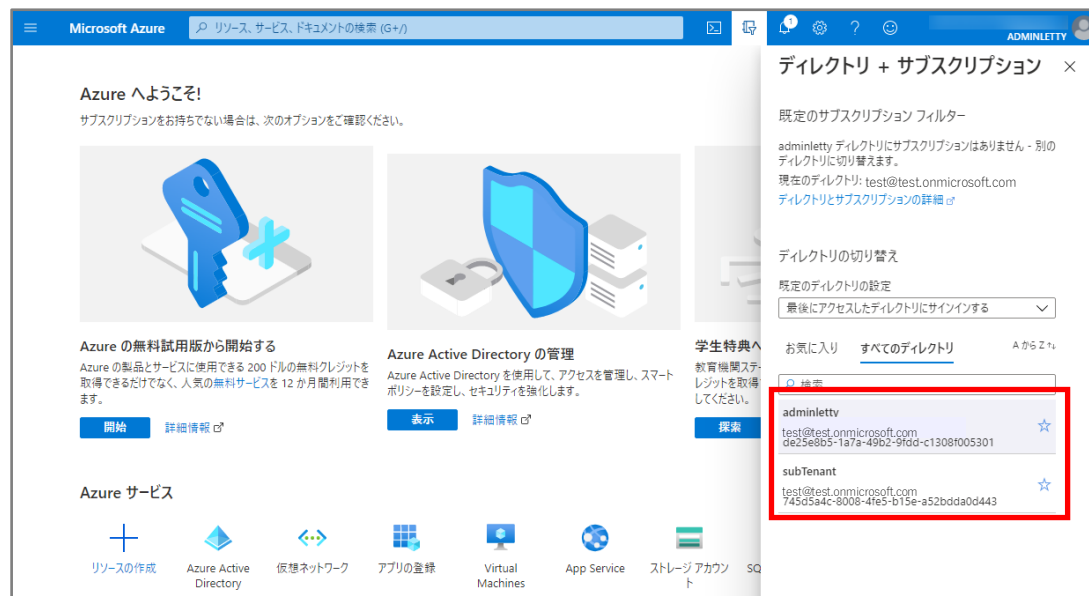
■組織の代理として同意する にチェックを入れ忘れて〔承諾〕を押下した場合

対象画面	Microsoft Azure
対象ユーザ	Microsoft365 テナント管理者

- 1) 画面右上のメールアドレスとユーザ名が表示されている箇所を押下します。
- 2) 〔ディレクトリの切り替え〕を押下します。



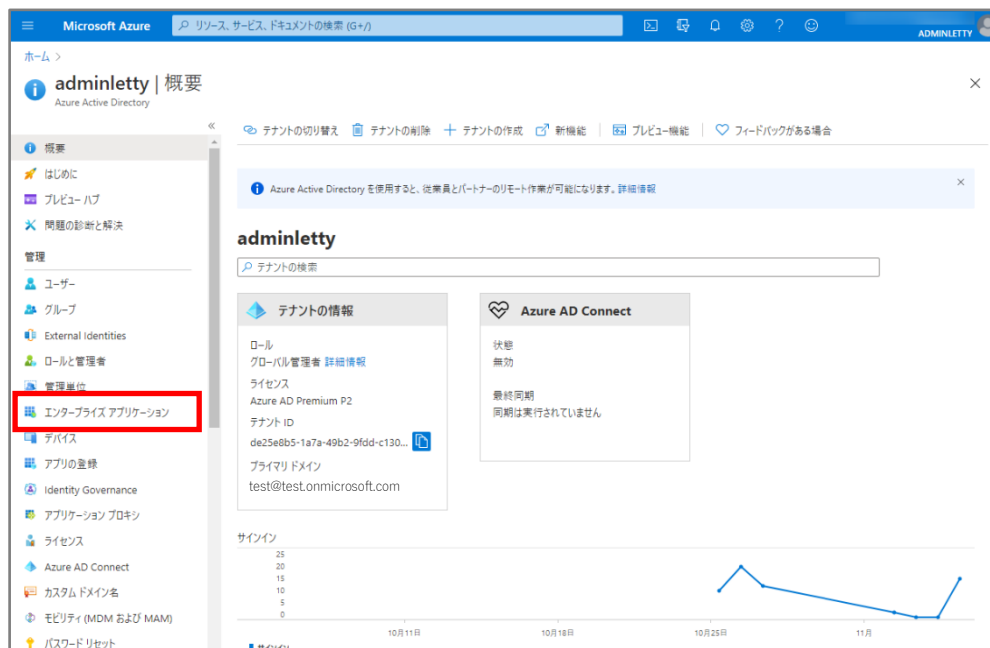
- 3) 対象のディレクトリ（テナント）を押下します。

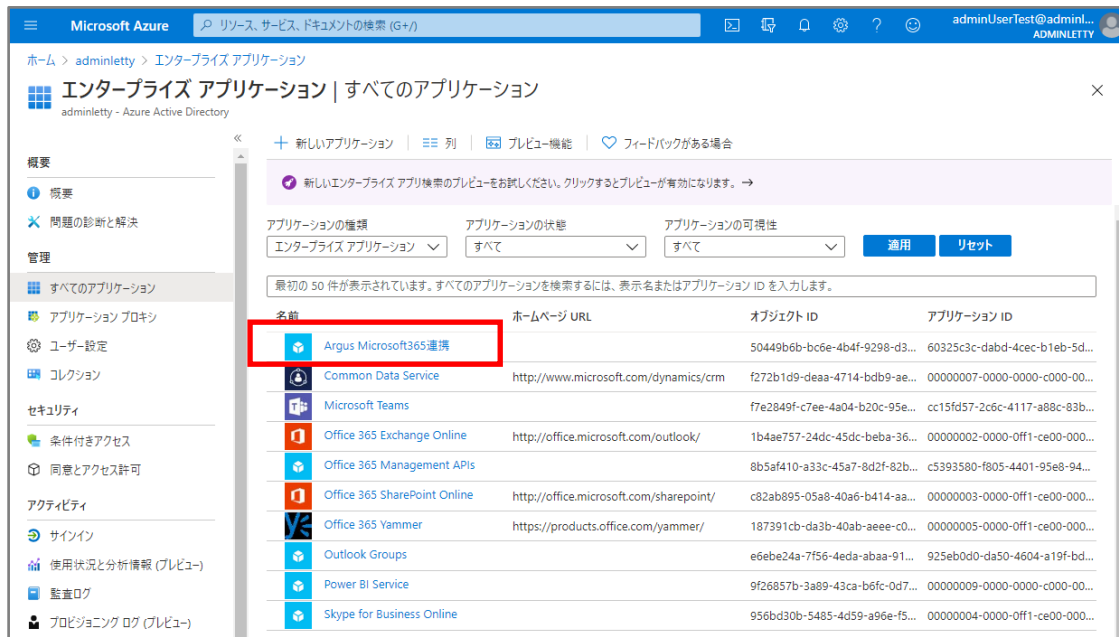


4) 画面左上の〔三〕を押下して、〔Azure Active Directory〕を押下します。



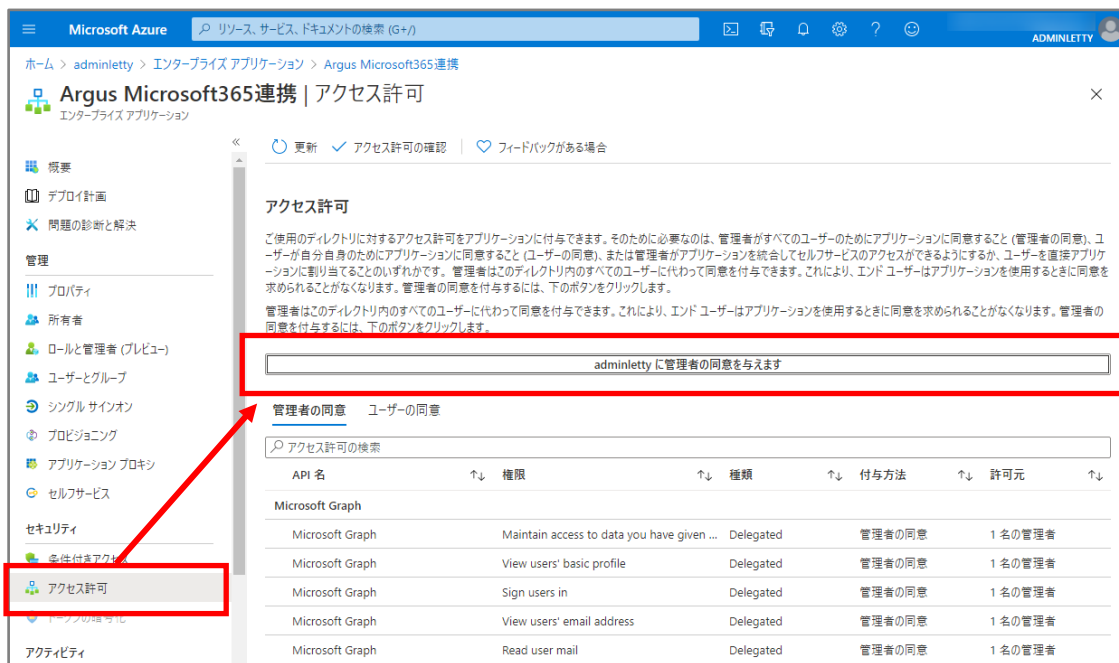
5) 〔エンタープライズアプリケーション〕を押下します。



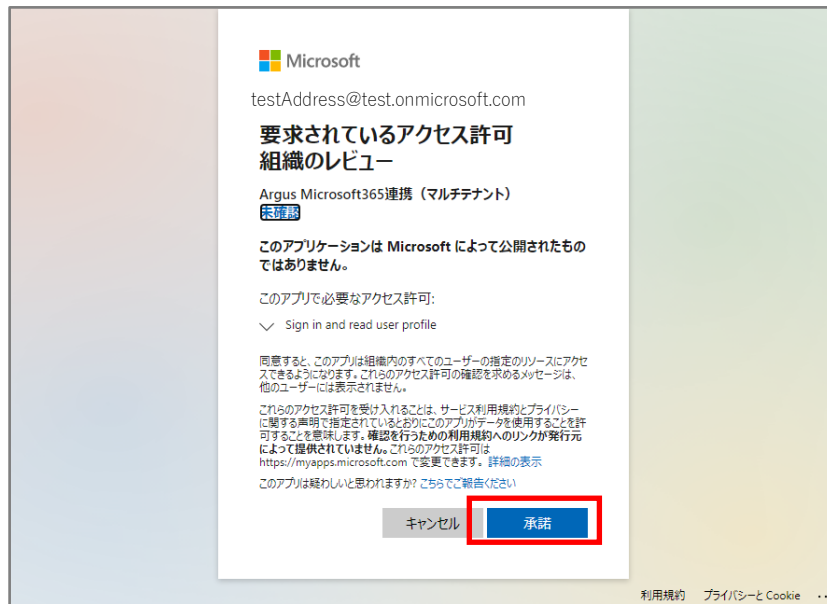
6) アプリの登録 で登録したアプリを押下します。

7) アクセス許可を押下します。

8) 「[{テナント名}]に管理者の同意を与えます」を押下します。



9) 管理者アカウントでサインインした後、〔承諾〕を押下します。



Point

- マルチテナントで認証設定を行う場合、テナントの管理者から設定を行います。その後、設定したテナントに所属するユーザが設定を行いことが可能になります。
- 承諾画面で 組織の代理として同意する にチェックを入れて〔承諾〕を押下します。入れ忘れた場合は、Microsoft Azure 画面側で再度設定が可能です。

10 本資料に関するお問合せ先

本資料についてご不明な点等ございましたら Argus サポートデスクまでお問合せください。

【お問合せ先】

Argus サポートデスク 宛て

メールアドレス : support_argus@letty.co.jp

受付時間 : 10:00～17:00（土日、祝日、年末年始、夏季をのぞく）

※受付時間外にご連絡を頂いた場合は翌営業日の受付とし、順次対応させていただきます。

1 1 履歴

Version	発行日	内 容
5. 0. 0	2020/12/1	初版発行